

令和4年度事業報告



ひたすらつながり

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

I	令和4年度事業計画の重点事項に基づく主な事業	1
II	部門別事業実施状況	
	経営部門	
	＜総務課＞	1 2
	＜修学・生活資金課＞	2 1
	地域福祉部門	
	＜地域福祉課＞	2 8
	＜レイカディア振興課＞	5 7
	人材部門	
	＜介護・福祉人材センター＞	6 8
	＜社会福祉研修センター＞	7 8
	福祉用具センター	8 2
	コーギータウン	8 7
	運営適正化委員会	9 0

令和4年度事業計画の重点項目に基づく事業

令和4年度は、「子ども・若者」「滋賀の福祉人」「アクティブシニア」の3つの分野において重点的に事業を展開するとともに、「縁の架け橋」を意識し、定款と第二次経営計画に基づく地域福祉実践を推進した。

また、法人設立70周年事業、新しい居場所の創出である「COZY TOWN」開設事業に取り組んだ。

1 「COZY TOWN」の開設 ～ともに学ばん・ともに遊ばん・ともに生きなん～

「ともに学ばん・ともに遊ばん・ともに生きなん」のコンセプトのもと、3つのキーワード「健康」「つながりと居場所」「キャリア」に基づき、アル・プラザ彦根（彦根市大東町2番28号）に令和4年10月1日に4階部分、12月2日に6階部分をオープンした。

コージータウンを知って来てもらえるよう、ロゴの作成などコージータウンの魅力を伝えるための広報・発信に力を入れた。また12月以降は6階カフェ、4階フリースペースを活用した相談会や居場所活動の取組みを行った。

【コージータウンの構成】

- 4階 ・滋賀県レイカディア大学彦根キャンパス
- ・滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンター
- ・コージータウン推進課
- ・芸術文化活動支援センター（社会福祉法人グロー）
- 6階 ・コージータウンカフェ
- ・つながり若者センターコージータウン



(1) コージータウン整備事業

【令和4年度費用（初期費用）】

（単位：円）

	整備初期 費用総額	R4 支出済	R4 財源		支払残額
4階	68,535,832	27,285,832	【コージータウン拠点区分支出】 県補助金（公民共働） 12,961,000 レイカディア振興基金 10,428,000 団体負担金 300,000 【他の拠点区分支出】 レイ大、人材C 3,596,832	（決算書 P98 COZY 拠点） 県補助金＋施設整備補助金 拠点区分間繰入金収入 賃貸料収入	41,250,000
6階	17,001,250	17,001,250	【コージータウン拠点区分支出】 ふれあい基金 12,918,000 自己財源（運営管理） 491,409 カフェ売上 2,873,670 【他の拠点区分支出】 レイ大、人材C、地域養護 718,171	（決算書 P98 COZY 拠点） 拠点区分間繰入金収入 拠点区分間繰入金収入 利用料収入 拠点区分間繰入金収入 レイカディア振興基金 10,428,000 ふれあい基金 12,918,000 運営管理 491,409 合計 23,837,409	0
合計	85,537,082	44,287,082	【コージータウン拠点】 39,480,670 【他の拠点区分】 4,806,412		41,250,000

・R4費用には改修費、備品費、移転費、家賃等を含む。

・支払残 41,250 千円を令和 5 年度から令和 9 年度まで分割して支払う。

【令和 5 年度～令和 9 年度の支出（5 か年）】

（単位：円）

	支払残額	年間支払額	5 か年総額
4 階	41,250,000	県補助金（公民共働） 6,187,000 レイカディア振興基金 2,063,000	6,187,000×5 年＝30,935,000 2,063,000×5 年＝10,315,000
合計	41,250,000	8,250,000	41,250,000

（2）アクティブシニアの生きがいと活動の場づくり

①滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスの移転・開講

レイカディア大学米原校のコージータウン移転に伴い、従来の草津校・米原校を草津キャンパス・彦根キャンパスに名称変更し、新たなキャンパスに 44 期生を迎えた。移転を機に「必修講座」を楽しく豊かに生きるための「基礎講座」に改め、選択講座とともに実施。

彦根キャンパスへの移転により通学の利便性の向上や、大学の周知度アップにつながるとともに、レイ大卒業生 3 団体（同窓会・サポートの会・えにしの会）の尽力も加わり、入学者の増につながった。

・彦根キャンパス 1 学年定員 70 名

移転前 40～43 期の定員充足率 平均 70%

内訳 40 期生 59 名（84.2%）、41 期生 47 名（67.1%）

42 期生 33 名（66.0%）、43 期生 57 名（81.4%）

移転後 44 期生 78 名（定員充足率 111.4%）

【学科別学生数】

（単位：名）

【性別】

（単位：名）

学科名（定員）	43 期生	44 期生	計
園芸（30）	25	34	59
北近江（20）	17	24	41
健康づくり（20）	15	20	35
計（70）	57	78	135

	43 期生	44 期生	計
男性	32	42	74
女性	25	36	61
計	57	78	135

【学生の声】

彦根キャンパスは米原校と比べ立地条件が良く、学生生活をエンジョイする環境があります。研修設備も新しく学習環境も整う中、向上心に燃えています。

②SLEC（しがレイカディアエクステンションカレッジ）の開設

三方よしのアクティブシニアライフのための短期講座を実施し、学びの場を提供した。

【友活講座の開催】※一部抜粋

講座名	講師	開催日	参加数
話し上手・聞き上手レッスン	夢こらぼ 主宰 松尾やよい	11 月 2 日（水）	8
いきいき美容セミナー	資生堂 東沢ゆかり	11 月 30 日（水）	13
現役大学生と学ぶ LINE 講座	県社協職員&滋賀大学学生	12 月 16 日（金）	7

全 10 講座 開催日数 19 日 参加者延べ 137 名

(3) 福祉人材の確保とキャリア支援

①滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンターの移転・開設

長浜からの移転により、センターへのアクセスの利便性が向上するとともに、求人情報等の掲示や相談しやすいレイアウト等の見直しにより、来所者数、相談件数が増加し、事業所と求職者とのマッチングにおいても目標数を上回ることができた。

【来所数】

(単位：人)

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	5	1	2	5	8	4	25
令和4年度	8	9	11	35	27	18	108
増減	3	8	9	30	19	14	83

【相談件数】

(単位：件)

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	73	89	86	81	83	75	487
令和4年度	121	108	111	107	169	138	754
増減	48	19	25	26	86	63	267

【令和4年度マッチング数】

ひこねセンター 目標数 50人 実績 70人 ※達成率 140%

②滋賀県社会福祉研修センターの研修実施

介護支援専門員研修専門課程をコージータウンで実施することにより、北部の福祉従事者の利便性を図ることができた。

実施日：11/1、11/7、11/15、11/29、12/13、12/14 計6日

(4) 「つながり若者センターコージータウン」の設置による地域養護の推進

12月より「つながり若者センターコージータウン」を新たに開設し、生きづらさを抱えた若者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

①対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

【相談支援実績】

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計	個別会議
	69件	15件	43件	12件	130件	11件

②居場所づくり事業の企画および実施

・コージータウン若者食堂

コージータウンカフェを活用し、平日夜6回および土曜日
日中2回の全8回開催。延べ84名参加。

・おやこサロン

コージータウンカフェにて毎週金曜日午後に全14回開催。

バルーンアートや紙芝居、軽運動などの活動を提供。主に未就学の子どもとその親、
延べ142名参加。

・若者応援イベント

3月18日 JERRYBEANS コンサート実施。観客数約60人。



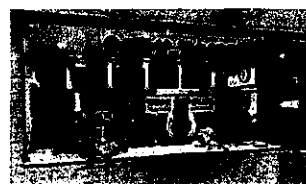
(5) 多様な出会いと交流を生み出す場

①「COZY TOWN Café (コージータウンカフェ)」の運営

令和4年12月2日、6階において、多様な人が交流する居心地の良い空間「コージータウンカフェ」をオープンした。県社協が運営する特色を活かし「若者食堂」「おやこサロン」等、カフェを活用したイベントや、人材センターや社会福祉研修センターの事業とリンクした企画の実施により、ほっこりできる居場所としての活用が少しずつできつつある。

【運営状況】

年 月	来客数	売 上
令和4年12月	1,817人	805,380円
令和5年1月	1,409人	602,570円
2月	1,558人	693,620円
3月	1,605人	772,100円
合 計	6,389人	2,873,670円



(6) ごっちゃ事業(横ぐし事業)の実施

駅近、商業施設、カフェというコージータウンの持ち味を活かした多部署、多団体との協働事業を展開し、幅広い参加があった。

- ①おやこサロン(子育て支援) <小鳩の家×つなわか×カフェ> 計14回開催
- ②若者食堂(若者の居場所活動) <さざなみ学園×つなわか×カフェ> 計8回開催
- ③ふく楽カフェ <研修センター×人材センター×カフェ> 計2回開催
- ④こころと身体の発育サロン <さざなみ学園×つなわか> 計4回開催
- ⑤子ども食堂ミニフェスタ <はぐくみ×カフェ×平和堂×ポケモン財団> 12/3
- ⑥学びの応援相談会 <資金×つなわか> 12/17
- ⑦若者応援クリスマスイベント <さざなみ学園×つなわか> 12/24
- ⑧プレ高齢者疑似体験 <用具センター×平和堂> 2/21
- ⑨愛犬地区里親交流会 <彦根保健所×つなわか> 3/15

(7) 芸術文化活動

・社会福祉法人グローと協働し、「バリアフリー映画会」を月1回開催した。

2 法人設立70周年記念事業の実施

法人設立70周年を迎え、下記事業を実施した。

①記念誌の発行

- ・令和4年7月発行。
- ・300部作成。143頁
- ・取材および寄稿依頼先 50名
- ・誌面構成：通史、事業紹介、滋賀県社協へのメッセージ
座談会、年表



②70周年特別企画 ひたすらなるつながりフォーラム

「水俣を知り 共に生きるを考えるフォーラム」の開催

開催日 令和4年5月20日（金）

会場 ピアザ淡海

内容 <講演> 「今、水俣からつながる思い」
発達支援ルーム ここすてつぷ水俣
施設長 上野 真実子氏
<鼎談> 「共に生きる」

○登壇者

上野 真実子氏、丸山 英明氏、渡邊 光春

○コーディネーター

金子 秀明

参加者 108人

③記念式典の開催

「共に生きる」ことをテーマとした講演・トークセッション、会長表彰、特別表彰等を実施。

開催日 令和4年11月21日（月）

会場 びわ湖ホール 中ホール

内容 <令和4年度滋賀県社会福祉協議会表彰状・
感謝状贈呈式>

<におの浜保育園 子どもたちによる合唱>

<記念講演>

「これからの時代を生きるあなたへ～

安心して弱者になれる社会をつくりたい～」

社会学者・東京大学名誉教授・

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）

理事長 上野千鶴子氏

<トークセッション>

「ひたすらなるつながり～共に生きるを考える～」

○登壇者 上野千鶴子氏、宮川絵理子氏、渡邊光春

○コーディネーター 湯浅誠氏

参加者 502人

④学会シンポジウム・ひたすらなるつながりフォーラム

開催日 令和5年2月22日（水）

会場 長寿社会福祉センター

『若者の声から「共に生きる」を考える～私たちがつなぐ未来へのバトン～』

【シンポジスト】

麻生 知宏 氏（NPO 法人 Since 代表理事）

今村 崇志 氏（I. キャンパス 代表）

清崎 鈴乃 氏（NPO 法人サニーサイド・シェアスペース hinata）

佐藤 すみれ 氏（NPO 法人 やんちゃ寺 代表）

平田 イヴィ 氏（かんちゃんの小さな家 運営スタッフ）

松崎 雛乃 氏（ひなしゅしゅ 代表/デザイナー）

黄瀬 絢加 （本会主任）

【コーディネーター】

谷口 郁美 （本会事務局長）

参加者 231人

⑤「先人に学ぶ」事業の実施

県内の先駆的実践者へ、次世代へのメッセージについてインタビューし、滋賀の福祉人研



修に活用できるブックレットを作成した。

- <一>社会福祉法人あすなろ福祉会 浅居 茂氏
- <二>医療法人藤本クリニック 藤本 直規氏・奥村 典子氏
- <三>社会福祉法人青祥会 畑下 嘉之氏・畑下 圭子氏
- <四>株式会社なんてん共働サービス 溝口 弘氏

⑥70周年記念レリーフの建立

法人理念である「ひたすらなるつながり」の文字が刻印されたレリーフを長寿社会福祉センター玄関ロータリーに建立。披露にあたり除幕式を実施した。

<除幕式>

開催日 令和4年5月31日(火)

参加者 本会理事、職員等 約50名



3 「子ども・若者」の社会からの孤立を防ぎ可能性を育む事業の展開

(1)「つながり若者センター」の設置による地域養護の推進

「つながり若者センターマザーボード」および、「つながり若者センターコージータウン」において、生きづらさを抱えた若者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

①対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

【つながり若者センターマザーボード相談支援実績】

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計	個別会議
	2, 587 件	861 件	281 件	25 件	3, 754 件	99 件

【つながり若者センターコージータウン相談支援実績】※再掲

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計	個別会議
	69 件	15 件	43 件	12 件	130 件	11 件

②対象者に関する「継続支援計画書」の作成

児童養護施設 令和5年3月退所者 20名

③居場所づくり事業の企画および実施

・マザーボード若者食堂

NP0 法人四つ葉のクローバーと共催し、原則月の最終週土曜日・日曜日に開催。

全20回実施。延べ480名参加。

・コージータウン若者食堂 ※再掲

コージータウンカフェにて平日夜6回および土曜日

日中2回の全8回開催。

延べ84名参加。

・おやこサロン ※再掲

コージータウンカフェにて毎週金曜日午後全14回開催。バルーンアートや紙芝居、軽運動などの活動を提供。主に未就学の子どものとその親、延べ142名参加。



(2) 子ども・若者ケアラーへの理解を深める事業の企画、実施

①民生委員児童委員研修(人権研修)

開催日 令和4年7月11日(月)

会場 草津市市民総合交流センター(キラリエ草津)

内容 講義「子ども若者ケアラーについて」～今後の若者支援～

講師 立命館大学 産業社会学部 教授 斎藤 真緒 氏

参加者 100人

②生活困窮者支援担当者研修会

開催日 令和4年10月11日(火)

会場 草津市立市民交流プラザ・大会室

内容 講義「ヤングケアラーと生活困窮者支援」

講師 兵庫県社会福祉士会会長 岡本 和久 氏

一般社団法人Atlas代表理事 日野 貴博 氏

参加者:27人

③淡海フィランソロピーネット会員研修

開催日 令和4年12月14日(水)

会場 オンライン研修(ZOOM)

内容 講演「ヤングケアラー支援に向けて～地域で支えていくために必要な視点～」

講師 立命館大学 教授 斎藤 真緒 氏

実践報告「ケアを担う子どもたちの実態と心の声～支援の中で見えてきたこと～」

報告者 特定非営利法人こどもソーシャルワークセンター 東岡 伶弥 氏

参加者 24人

(3) 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

①企業・団体および個人のスポンサー登録の推進

新規 団体12件、個人21件 計556件(企業・団体431件 個人125件)

②はぐくみ基金への寄付の推進

・はぐくみ基金への寄付収納(物品等金額換算分を含む) 21,315,856円

③スポンサーからのサポート(提供)に係るマッチング

- ・小売業者によるフードドライブの取り組み(子ども食堂6団体)
- ・製薬会社との商品斡旋に関する協定書の締結(うがい薬の斡旋)
- ・メーカーとの食品の提供・譲渡に関する合意書

④通信の発行

・「はぐプロ通信 vol.4」(令和4年6月発行)

⑤ホームページ・SNSでの広報啓発活動

・不定期でのホームページ・Facebook・Instagram・LINE・メールマガジンでの情報発信

⑥LINEを活用した情報共有の仕組み構築と運用

・子ども食堂実施団体用・スポンサー用それぞれの公式LINEを運用

⑦遊べる学べる淡海子ども食堂の推進

i みんな集まれ!子ども食堂フェスタ

開催日 令和4年10月22日(土)

場所 長寿社会福祉センター

参加者 501人



ii みんな集まれ！コージータウン子ども食堂フェスタ

開催日 令和4年12月3日（土）

場 所 コージータウン

参加者 520人

⑧滋賀の子ども若者のほほえむ力サポート事業

i 商品券配布事業

低所得の子育て世帯等に対し、子ども若者ひとりにつき5,000円分の商品券1セットを配布した。併せて暮らしの様子を尋ねるアンケート調査を行った。

（事業の対象者）

- ・生活福祉資金貸付制度のコロナ特例貸付のうち、総合支援資金を3か月以上借りている世帯に属する18歳以下の者
- ・自立支援資金貸付制度を利用している者または修了者
- ・教育支援資金貸付等を利用している高校生・大学生・専門学校生

（実施期間）令和4年6月～令和5年2月末

【商品券を配布した対象世帯と配布結果】

	対象世帯数	配布世帯数	配布率（％）	配布人数（人）
コロナ特例利用世帯	4,730件	4,493件	95.0%	8,037人
自立支援資金利用者	66件	63件	95.5%	63人
教育支援資金利用者	405件	390件	96.3%	423人
合 計	5,201件	4,946件	95.1%	8,523人

【アンケート結果概要】

- ・対象者の職業は、正社員が30%、非正規社員35%、自営業21%、無職10%だった。
- ・生活の中で困っていることについては、「収入が減ったこと」「日々の生活費に困る」「子どもの教育費や習い事費用」が多くみられた。
- ・生活にかかる負担については、「食費」が最も多く、「電気・ガスなどの公共料金」「家賃や住宅ローンなど住宅関連のお金」と続いた。
- ・自由記述の記載は615件あり、日本語以外での回答が31件あった。「発達障害」や「障害」のことが書かれたものが46件、「不登校」が32件あった。家庭の生活・経済状況に、発達障害や不登校など子どものケアの必要性が関係している状況もみえた。

（自由記述から）

- ・発達障がいと不登校の娘がおり、妻が思うような仕事が出来ない。（40代自営業）
- ・コロナ禍もあって学級閉鎖や早退、休みなどになると、子どもに障害があるためどうしても妻がパートを欠勤する事になるため、生活は苦しいままです。勤務先にも迷惑をかけると精神的にも辛いです。（40代正社員）
- ・精神的にも肉体的にも病気を抱えているので、子どもの将来が不安です。（30代自営業）
- ・高校の学費が高い（定期代金）、習い事などをさせる余裕がない、（40代アルバイト）

ii 子ども食堂等緊急支援助成

コロナ禍や物価高騰の厳しい影響が子どもたちに及ばないように、子ども食堂や生活困窮世帯児童を対象に居場所活動を運営する団体に対し助成を行った。

（助成要件）

- ・令和4年9月末日までの間に3回以上活動すること
- ・交付決定日より令和5年1月31日までの経費
- ・1団体あたり10万円上限

（助成実績）

- ・助成総額11,017,411円 ※116か所（子ども食堂、フリースペース等）

⑨社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進

社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」の実施の支援を行った。

i 他法人との共働によるフリースペース事業の推進 13か所

助成：8か所 コロナ禍のため活動休止：5か所

ii フリースペース運営者・子ども支援関係機関の交流会

開催日 令和4年6月3日（金）

場 所 フェリエ南草津

参加者 12名（事務局含む）

4 「滋賀の福祉人」の育成と誇りを育む事業の展開

（1）すべての福祉従事者を対象とした「滋賀の福祉人研修」の実施

・社会福祉共通研修

i 新任期（原則3年未満） (3日×2コース) [修了者数] 97人

ii 中堅期（原則5年未満） (3日×1コース) [修了者数] 52人

iii チームリーダー (3日×1コース) [修了者数] 29人

iv 管理職 (2日×1コース) [修了者数] 29人

※「滋賀の福祉人」とは

「滋賀の福祉人」とは、支援の知識や技術を支える基本となる支援者としての高い倫理観や価値観を有し、それらを土台に据えて主体的に日々の福祉実践を行う人材をいう。

（2）「えにしアカデミー」の運営

①学生数

第1期（2年生） 29名（定員30名）

第2期（1年生） 14名（定員15名）

②2期生入学式の開催

開催日 令和4年10月5日（水）

場 所 草津市立市民交流プラザ

出席者 41名（うち2期生入学生12名）



③講義等の実施

・講義実施状況

i 第1期後期（令和4年4月～令和4年9月）

オンライン講義 19回 集合講義 4回

ii 第2期前期（令和4年10月～令和5年3月）

オンライン講義 18回 集合講義 2回

【実施講義】（一部抜粋）

日程	担当フェロー	講義テーマ
5/13	白澤 政和	福祉社会を創るケースマネジメント
6/3	玉井 裕明	社会的弱者の権利をどう守るか
6/10	辻本 哲士	医療とつながっていく福祉、福祉人
8/12	山田 容	子ども虐待へのまなざしと対応の課題
3/17	永田 祐	権利擁護と成年後見

④ゼミ実施状況

i 第1期後期（令和4年4月～令和4年9月）

1年生ゼミ 10回(2クラス 5回)

ii第2期後期(令和4年10月～令和5年3月)

2年生ゼミ 29名の学生が8つのゼミクラスに分かれて月1回～2回実施

修了論文作成に向けた指導および意見交換

iii1年生ゼミ 5回実施

学生がテーマ「困難に直面したときに、手にとった文献(本・雑誌・漫画・詩など)について」に対しプレゼンテーションを行った。

⑤修了論文構想発表会

令和5年1月6日、キラリエ草津にて、修了論文の章立て(各章のテーマ)などについて発表を行った。出席者40名(1期生23名、2期生6名、フェロー8名 他)

【学生の声】

えにしアカデミーで感じた確かな手応え～ 講義内容はどれも新鮮で新たな気づきがあり大変良い刺激になっています。複雑多様化する福祉界において、この気づきと同じ志や目的を持った仲間である他職種(多職種)との相互連携やかかわりは、きっと自身の大きな宝になると信じています。

他分野の学生との交流が自分を成長させる～ えにしアカデミーの最大のメリットは、高齢・児童・障がいといった福祉他分野の方々と交流が図れることです。地域の福祉増進には、各分野が横断的につながりを持ち続けることが求められます。様々な角度から学び、自分の福祉人生を振り返ることができ大変有意義に感じています。

えにしアカデミーは私にとっての羅針盤～ 日々の実践では、課題解決や現状改善に追われ視野が狭くなってしまう事もしばしば。そんな中、週1回の講義と共に学ぶ仲間との意見交換の時間は、福祉の原点の確認と目指すべき方向を示してくれる、大切な時間となっています。

※ 特例資金貸付事業の実施

新型コロナウイルス感染症の発生による収入の減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に、当面の生活費に関する資金需要に対応するため特例貸付を実施した。(令和4年9月終了)

令和4年6月より、緊急小口資金・総合支援資金(初回)の償還免除手続きが開始になり、その後償還猶予手続き開始、令和5年1月より償還開始となった。

【実績】(令和2年3月～令和4年9月) 概算世帯数 20,800世帯

貸付種類	債権数	貸付額(千円)
緊急小口資金	20,768	3,981,381
総合支援資金(初回)	18,706	9,828,256
総合支援資金(延長)	7,957	4,199,860
総合支援資金(再貸付)	11,549	6,094,560
合計	58,980	24,104,057

【債権状況】令和5年3月31日現在

債権状況	債権数	貸付金額(千円)	概算世帯数	割合
対象債権	37,033	12,949,896	20,800	
① 免除	12,755	4,536,803	7,163	34.4%
② 猶予	799	279,398	449	2.2%
③ 状況不明	10,982	3,763,717	6,168	29.7%
④ 返済対象	11,426	3,995,504	6,417	30.9%
⑤ 繰上返済	461	161,205	259	1.2%
⑥ 債務整理	610	213,269	343	1.6%

【経営部門】

総務課

1 滋賀県社協法人設立70周年事業

(1) 70周年記念誌の発行

令和4年7月発行。300部作成。

取材および寄稿依頼先…50名

(2) 記念式典の開催

「共に生きる」ことをテーマとした講演・トークセッション、会長表彰、特別表彰等を実施。

開催日 令和4年11月21日（月）

会 場 びわ湖ホール 中ホール

内 容 <令和4年度 滋賀県社会福祉協議会表彰状・感謝状贈呈式>

<におの浜保育園 子どもたちによる合唱>

<記念講演>

「これからの時代を生きるあなたへ～安心して弱者になれる社会をつくりたい～」

社会学者・東京大学名誉教授・

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長 上野千鶴子氏

<トークセッション>

「ひたすらなるつながり～共に生きるを考える～」

○登壇者

社会学者・東京大学名誉教授・

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長 上野千鶴子氏

宮川バネ工業株式会社 専務取締役 宮川絵理子氏

滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊光春

○コーディネーター 社会活動家・東京大学特任教授 湯浅誠氏

参加者 502名

(3) 70周年特別企画 ひたすらなるつながりフォーラム

「水俣を知り 共に生きるを考えるフォーラム」開催

開催日 令和4年5月20日（金）

会 場 ピアザ淡海

内 容 <講演> 「今、水俣からつながる思い」

発達支援ルーム ここすてっぷ水俣 施設長 上野 真実子氏

<鼎談> 「共に生きる」

○登壇者

発達支援ルーム ここすてっぷ水俣 施設長 上野 真実子氏

滋賀県 健康医療福祉部 次長 丸山 英明 氏

滋賀県社会福祉協議会 会長 渡邊 光春

○コーディネーター

社会福祉法人さわらび福祉会理事長/滋賀県社会福祉協議会理事 金子 秀
明

参加者 108名

(4) 職員永年勤続特別感謝状の実施

法人化70周年にあたり、精勤勉励し、他の模範となる職員に対し、特別感謝状を贈呈。

受贈者…5名

(5) 70周年記念レリーフの建立

法人理念である「ひたすらなるつながり」の文字が刻印されたレリーフを長寿社会福祉センター玄関ロータリーに建立。その披露にあたり、除幕式を実施した。

<除幕式>日 時：令和4年5月31日（火）

参加者：本会理事、職員等 約50名

(6) 70周年記念サイトの創設

本会ホームページにおいて、記念ページを創設し、実施予定の記念事業の広報や70年のあゆみ、関係者から届いた「つくりたい未来」メッセージ等を掲載。

2 理事会、監事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

<第1回> 決議の省略

・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年5月27日（金）

・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 評議員選任・解任委員の補充に伴う選任について

<第2回>

開催日 令和4年5月31日（火）

議 題 (1) 令和3年度 事業報告（案）について

(2) 令和3年度 一般会計決算（案）について

(3) 令和3年度 生活福祉資金会計決算（案）について

(4) その他財産の無償譲渡について

(5) 役員候補者の選任について

- (6) 第35期評議員候補者の選定について
- (7) 令和4年度 第1回評議員会（定時評議員会）の招集について
- (8) 令和4年度 一般会計第一次収支補正予算（案）について
- (9) 令和4年度 生活福祉資金会計第一次収支補正予算（案）について

<第3回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年7月8日（金）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 常務理事の選定について

<第4回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和4年9月27日（火）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 評議員選任・解任委員の補充に伴う選任について
 - (2) 評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選定について
 - (3) 滋賀県社会福祉協議会 諸規則の改正（案）について

<第5回>

開催日 令和4年12月19日（月）【コーギータウン】

- 議 題
- (1) 滋賀県社会福祉協議会 経理規程の一部変更について
 - (2) 令和4年度 一般会計第二次収支補正予算（案）について
 - (3) 令和4年度 生活福祉資金会計第二次収支補正予算（案）について

<第6回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和5年2月20日（月）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任に伴う、評議員会に提出する候補者の選任について

<第7回>

開催日 令和5年3月10日（金）

- (ア) 議 題
- (1) 令和5年度 事業計画（案）について
 - (2) 令和5年度 一般会計収支予算（案）について
 - (3) 令和5年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について
 - (4) 令和5年度 資産運用計画（案）について
 - (5) 令和4年度 一般会計第三次収支補正予算（案）について
 - (6) 令和4年度 生活福祉資金会計第三次収支補正予算（案）について
 - (7) 滋賀県社会福祉協議会 諸規程の改正（案）について
 - (8) 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担（案）について
 - (9) 令和4年度 第3回評議員会の開催について
 - (10) 滋賀県社会福祉協議会 副会長の選定について

<第8回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和5年3月23日（木）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 筆頭副会長の選定について

(2) 監事会

<第1回>

開催日 令和4年5月23日（月）

- 議 題
- (1) 事業報告等（理事の業務執行状況、法人の業務執行状況）の監査
 - (2) 計算関係書類及び財産目録の監査

(3) 評議員会

<第1回>

開催日 令和4年6月15日（水）

- 議 題
- (1) 令和3年度 事業報告（案）について
 - (2) 令和3年度 一般会計決算（案）について
 - (3) 令和3年度 生活福祉資金会計決算（案）について
 - (4) 役員候補者の選任について
 - (5) 令和4年度 一般会計第一次収支補正予算（案）について
 - (6) 令和4年度 生活福祉資金会計第一次収支補正予算（案）について

<第2回>

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和5年3月3日（金）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任について

<第3回>

開催日 令和5年3月17日（金）

- 議 題
- (1) 令和5年度 事業計画（案）について
 - (2) 令和5年度 一般会計収支予算（案）について
 - (3) 令和5年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について
 - (4) 令和4年度 一般会計第三次収支補正予算（案）について
 - (5) 令和4年度 生活福祉資金会計第三次収支補正予算（案）について

(4) 評議員選任・解任委員会について

<第1回> 決議の省略

- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和4年6月8日（水）
- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容

- (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について
 <第2回> 決議の省略

- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和4年10月13日(木)
- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容

- (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について

3 緑の架け橋づくりを担う人材育成

人材育成基本方針に基づき、職階に応じた職務遂行能力の向上の為、下記の通り、新規採用職員に対する職場内部研修の実施、階層別研修等への参加により、職員の資質向上を図った。

- (1) 令和4年4月入職職員および令和3年度中採用職員対象研修

開催日 令和4年4月14日(木) 参加: 13名

- (2) えにし滋賀の福祉人研修

【新任期】 参加 1名

【中堅期】 参加 2名

【チームリーダー】 参加 3名

【管理職員】 参加 2名

- (3) 接遇対応研修 開催日 令和4年5月18日(水) 参加 20名

- (4) 係長研修 開催日 令和4年7月22日(金)、8月1日(月) 参加 17名

- (5) ハラスメント研修 開催日 令和4年10月26日(水) 参加 48名

- (6) 中間管理職研修(滋賀県市町社会福祉協議会会長会と共催)

開催日 令和4年12月12日(月) 参加 18名(内3名県社協から参加)

- (7) 部落解放研究第28回滋賀県集会

開催日 令和5年2月18日(土) 参加 5名

4 長寿社会福祉センターの管理運営

高齢者の健康と生きがいづくりを推進し、明るく活力ある長寿社会づくりを実現することを目的・役割として設置されるセンターを、誰もが利用しやすい施設となるよう努めるとともに、その適切な管理運営に努めた。

また、設置者の滋賀県とともに、施設設備の経年使用に伴う老朽等へ計画的に対処した。

- (1) 特定施設の利用実績

施設を、下表のとおり約56,400名の方に利用いただいた。

<特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	228	189	116	121	248	108	185
人数(名)	17,187	3,369	1,881	2,001	4,356	1,798	3,466

室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計
件数(件)	334	370	300	287	283	2,769
人数(名)	3,035	9,517	3,126	3,303	3,354	56,393

(2) 特定施設の稼働実績

対前年度比で3.9ポイント稼働率が減少した(令和3年度稼働率67.7%)が、コロナウイルス感染も落ち着きを見せてきたこともあり、施設の有効活用の目標である61.1%を9.2ポイント上回る結果となった。

<特定施設の本年度稼働率>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	63.5%	56.0%	38.0%	39.0%	72.8%	36.2%	59.5%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	85.4%	86.6%	77.9%	74.8%	73.2%	63.8%	

(3) センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、その適正な保全と維持管理に努めた。

- ① 建築保全業務の一部委託実施
- ② 清掃業務の委託実施
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかかる清掃業務追加委託
- ④ 電気およびガスの供給にかかわる業務委託
- ⑤ 一般廃棄物および産業廃棄物の適法かつ適切な処分の実施
- ⑥ 機密文書の処分の実施
- ⑦ 敷地内除草作業
- ⑧ 本館棟非常灯バッテリー交換
- ⑨ 本館エレベーター他誘導灯蓄電池修理
- ⑩ 照明器具(蛍光灯・安定器)交換修理
- ⑪ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施(もしサポ滋賀の導入・各種消毒用機材の配備・昼食時の感染防止対策を館内放送・来館者用受付電話の設置など)
- ⑫ AEDパッドの更改
- ⑬ 男性用多目的トイレへのサニタリーボックスの設置
- ⑭ 研修室ワイヤレスマイクの交換
- ⑮ 玄関ロビー天井部漏水修繕
- ⑯ スプリンクラーポンプにおける呼水槽修繕
- ⑰ 中央監視設備長寿命化工事
- ⑱ リモートユニット更新工事

- ⑭ 空調機ドレンパン改修工事
- ⑮ 福祉用具センター外壁タイル修繕
- ⑯ 敷地内枯れ木伐採
- ⑰ 調理室給湯器修繕
- ⑱ 第1研修室前廊下漏水修繕
- ⑲ 非常用発電機疑似負荷試験実施 他

(4) 消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保並びに財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施。

実施日：令和4年7月25日（月）、令和5年3月30日（木）

(5) 消防設備に関する点検等の実施

防火対象物点検資格者による防火対象物点検

点検日：令和5年1月16日（月）

5 滋賀県社会福祉協議会 会長表彰の実施

表彰式を実施した

開催日 令和4年11月21日（月）

会 場 びわ湖ホール

<被表彰者>

- ・民生委員児童委員…165 件
- ・社会福祉施設、社会福祉事業、老人保健施設を経営する法人の役員等…2 件
- ・社会福祉施設、社会福祉事業職員、介護老人保健施設の現業職員…91 件
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の役員等…2 件
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の職員…11 件
- ・ボランティア（個人）…5 件
- ・ボランティアグループ…10 件

<感謝>

- ・寄付 32 件 法人 31 件 個人 1 件
- ・地域福祉の推進に特に貢献している社会福祉法人または団体 2 団体

なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。

<本会から推薦を行い受賞された内訳>

民生委員児童委員功労者 5 名、社会福祉施設功労 8 名、社協・団体功労者 8 名、
 永年勤続功労者 5 名、社会福祉協議会優良活動 1 社協

6 社会福祉法人・施設との協働

(1) 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による予算要望活動の実施

市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、令和5年度に向けた社会福祉関係予算要望及び提案を協働で行った。

要望先	実施日	場所
自由民主党滋賀県議会議員団	令和4年6月7日(火)	滋賀県庁2階 議員室
滋賀県(健康医療福祉部長)	令和4年9月16日(金)	滋賀県大津合同庁舎7C会議室
チームしが 県議団	令和4年8月25日(木)	滋賀県庁2階 第5委員会室

(2) 社会福祉施設等関係団体との協働

「滋賀県児童成人福祉施設協議会」および「滋賀県社会福祉法人経営者協議会」の事務局受託により各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

(3) 他団体が実施する助成事業への協力

- ①ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
- ②滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
- ③オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
- ④大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- ⑤24時間テレビ『福祉車両贈呈』への推薦協力
- ⑥滋賀トヨタ自動車株式会社・ネットトヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車輦贈呈への推薦協力
- ⑦「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
- ⑧財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力

(4) 滋賀県善意銀行の運営

県域で実施される民間団体等の地域福祉の向上を図る活動への支援のため、「滋賀県善意銀行」として、寄付・預託の受入れと助成を行った。

①寄付・預託の受入れ

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス 車椅子2台

関西遊技機商業組合 車椅子5台、クッション5台

滋賀県宅地建物取引業協会 青年部会 車椅子10台

②助成

社会福祉法人滋賀県母子のぞみ会 200,000円

(5) 滋賀県保育協議会との縁架け橋協働プロジェクトの実施

- ①男性保育者プロジェクト企画会議の開催 2回

②学習&情報交換会の開催

	日	会場	参加者数	対象
全体会	8/25	アクティ近江八幡	8名	企画委員
南ブロック	10/27	長寿センター	8名	企画委員+県内の保育者
北ブロック	10/24	長浜市民体育館	7名	

③子ども食堂フェスタへの参画

(6) 縁特別会員の広報および会員の拡大、基金の増強

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び会員加入促進のため、広報誌やホームページ等での広報等を行った。

○縁特別会員数

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	17	84	0	19	2	122

7 情報発信

(1) 広報誌「季刊ひたすらなるつながり」の発行

〈第8号〉 令和4年8月発行 4,000部

特集 「おめでとう」から「ありがとう」まで～みんなが幸せに生きられる社会へ～

〈第9号〉 令和4年11月発行 4,000部

特 集 滋賀の福祉の未来を語る

〈第10号〉 令和5年3月発行 4,000部

特 集 若者の声から「共に生きる」を考える

(2) ホームページ等を活用した情報の発信

昨年度リニューアルを終えたホームページを活用し、本会事業に関する特例貸付情報等の緊急や最新のお知らせ、研修等事業の情報はじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報、寄付情報等を広く情報発信した。滋賀県社会福祉協議会法人化70周年を迎えるにあたり、特設ページも設けた（再掲）。

本会の発信力を高めるため、facebook等を各部署で週ごとに担当を決め、活動についてSNSで積極的に発信した。

・アクセス数： 122,878件（2022.4.1～2023.3.31）

・ページビュー数：665,306件（2022.4.1～2023.3.31）

修学・生活資金課

1 生活福祉資金貸付事業・要保護世帯向け不動産担保型生活資金および臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の発生による収入の減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に、当面の生活費に関する資金需要に対応するため特例貸付を実施した。(特例貸付受付は令和4年9月終了)

令和4年6月より、緊急小口資金・総合支援資金(初回)の償還免除手続きが開始になり、その後償還猶予手続き開始、令和5年1月より償還開始となった。

(1) 特例貸付実績 (令和2年3月～令和4年9月)

貸付種類	債権数	貸付額(千円)
緊急小口資金	20,768	3,981,381
総合支援資金(初回)	18,706	9,828,256
総合支援資金(延長)	7,957	4,199,860
総合支援資金(再貸付)	11,549	6,094,560
合計	58,980	24,104,057

※ 概算世帯数 20,800世帯

※ 全国比較(別紙1)

(償還免除・償還開始に向けた手続き)

対象債権数 37,033件(約20,800世帯)

令和4年3月まで受付の緊急小口資金および総合支援資金(初回)

令和4年6月 償還(返済)免除申請に関する案内発送

9月 郵便未達世帯への償還(返済)免除申請案内およびSMS発信

10月 状況不明世帯への償還(返済)免除申請案内およびSMS発信

12月 償還(返済)開始のお知らせ発送

(令和5年3月31日債権状況)

(金額:千円)

債権状況	債権数	貸付金額	概算世帯数	割合
対象債権	37,033	12,949,896	20,800	
① 免除	12,755	4,536,803	7,163	34.4%
② 猶予	799	279,398	449	2.2%
③ 状況不明	10,982	3,763,717	6,168	29.7%
④ 返済対象	11,426	3,995,504	6,417	30.9%
⑤ 繰上返済	461	161,205	259	1.2%
⑥ 債務整理	610	213,269	343	1.6%

- ・特例貸付自己破産
 - 令和2年度 21件 4,050千円
 - 令和3年度 44件 19,700千円
 - 令和4年度 117件 44,700千円

(2) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ
貸付決定額推移（本則） (千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援	0	0	0	0	0	0
福祉資金	58	39,899	60	30,774	67	29,826
緊急小口	30	2,809	23	2,210	75	6,817
教育支援	292	322,543	299	279,496	273	258,186
要保護世帯不動産 担保	1	4,396	3	17,868	2	10,472
臨時つなぎ	0	0	0	0	0	0
合計	381	369,647	385	330,348	417	305,301

(3) 滋賀県貸付審査等運営委員会（定例）の開催（毎月1回）

(4) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ
資金の債権管理

- ・借受人の状況把握と対応（居住地調査、督促、債務整理への対応、など）
居住地調査（年2回）、貸付残高のお知らせ（年2回）、督促状（年2回）
コンビニ払込票（毎月償還不能先）
- ・本則 自己破産
 - 令和2年度 12件 12,480千円
 - (免責確定分) 令和3年度 43件 26,625千円
 - 令和4年度 36件 32,498千円

(5) 生活福祉資金担当者研修会及び学びの応援相談会の実施

2022年6月17日 市町社協生活福祉資金実務者研修会実施

- ・貸付事業の流れとポイント
- ・貸付事業の制度概要と留意事項
- ・生活福祉資金の動向・償還について

2023年10月16日 学びの応援相談会 講義形式

- ・「学び」に役立つ給付金・奨学金の紹介

・そこが知りたい質問コーナー

2023 年 12 月 17 日 学びの応援相談会 ブースでの個別対面相談型式
コージータウンにて

(6) その他

長期滞留債権比率推移

長期滞留債権・・・償還（返済）開始以降、1 年以上 1 度も償還（返済）がない債権（千円）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
健全債権	1, 813, 578	1, 935, 347	1, 988, 884
長期滞留債権	1, 523, 296	1, 507, 649	1, 507, 251
貸付合計	3, 336, 874	3, 442, 996	3, 496, 135
長期滞留債権比率	45. 6%	43. 8%	43. 1%

【近畿府県特例貸付実績及び世帯数比率】

（ ）内は全国順位

都道府県	債権数	金額（千円）	全世帯数（件）	債権数/全世帯数
滋賀県	58, 980	24, 104, 000	601, 688	9. 80（3）
京都府	115, 200	47, 581, 828	1, 233, 229	9. 34（4）
大阪府	493, 260	198, 291, 185	4, 433, 664	11. 13（2）
兵庫県	201, 717	80, 570, 759	2, 583, 222	7. 81（8）
奈良県	34, 982	14, 483, 378	603, 937	5. 79（17）
和歌山県	32, 012	13, 006, 989	442, 544	7. 23（12）

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し、就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的とし貸付事業を実施した。

(1) 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

通常の貸付に加え、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した進学者及び就職者に対し、生活支援費を増額及び新たに貸付

新規貸付決定額推移

(千円)

貸付事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	5	7,200	5	5,350	6	7,850
家賃支援費	13	12,035	19	15,995	11	10,868
資格取得費	4	980	5	796	10	1,521
生活支援（ｺﾏ）	11	2,460	6	3,000	0	0
家賃支援（ｺﾏ）	1	420	2	768	0	0
計	34	23,095	37	25,909	27	20,240

(2) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の広報

児童養護施設、自立支援ホーム等に在籍する子ども及び職員に対し制度の周知・説明を行った。

① 児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施

対象者 施設職員・里親

施設名	開催日
淡海学園	令和4年6月13日
鹿深の家	令和4年7月1日
小鳩フォスタリング（里親向け）	令和4年8月18日
守山学園	令和5年2月6日

② 児童向け説明会の実施

対象者 児童

開催場所	開催日
さざなみ学園	令和4年4月12日、令和4年9月12日
湘南学園	令和5年1月27日、令和5年2月3日
里親宅	令和5年3月3日
武佐ホーム	令和5年3月6日
コージータウン	令和4年12月4日（さざなみ学園） 令和5年3月2日（里親里子対象）

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保護等の業務に従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。養成施設を卒業後、滋賀県内の施設等において保育業務に一定期間以上（修学資金5年、その他2年等）従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

保育新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育士修学	102	142,342	124	179,511	99	115,472
保育補助者雇上	6	57,439	2	9,561	2	17,714
保育料一部	62	11,467	74	16,735	84	18,608
就職準備金	42	14,674	51	19,039	67	24,597
子ども預かり	1	3	0	0	0	0
計	213	225,925	251	224,846	252	176,391

令和4年度保育士修学資金 新規受付養成校実績

	R2	R3	R4		R2	R3	R4
滋賀短期大学	16	26	22	龍谷大学短期大学	8	10	8
華頂短期大学	20	21	8	京都文教短期大学	11	8	2
滋賀文教短期大学	6	14	6	その他	35	31	38
びわこ学院大学短期	6	14	15	合計	102	124	99

(2) 保育士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	190	139,665	219	169,747	224	212,171

(3) 保育士修学等資金返還推移

(千円)

返還	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	523	42,651	479	27,607	611	33,731

(4) 保育士修学資金等貸付事業の広報

① 保育協会との連携による求職者への情報提供・就職フェア参加

令和4年8月28日(日) ポストンプラザ草津

令和4年9月4日(日) 琵琶湖ホテル

② 保育士就職説明会での情報説明会

令和4年9月21日(水) ハローワーク大津

令和4年9月29日(木) ハローワーク大津

③ 保育士養成校への制度説明(びわこ学院・滋賀文教短期・滋賀短期)

④ 県内の高校、保育所等への募集要項・チラシ配布

4 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

介護人材育成、確保及び定着を支援するため、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生に対しての修学資金貸付事業を実施した。

これらの貸付金は、滋賀県内の施設等において介護等の業務に一定期間以上(修学資金5年、福祉系高校3年、その他2年)従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 介護福祉士修学等貸付の状況

介護新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護福祉士修学	48	76,386	29	45,228	44	68,350
福祉系高校修学	-	-	15	4,920	1	300
実務者研修受講	132	20,811	147	24,714	108	17,896
介護人材再就職	20	6,920	17	5,823	23	7,940
介護分野就職支	-	-	15	2,828	25	4,853
障害福祉分野	-	-	4	654	4	786
計	200	104,117	227	84,167	205	100,125

令和4年度介護福祉士修学資金新規受付養成校実績

	R2	R3	R4		R2	R3	R4
華頂社会福祉専門	20	11	17	京都医療福祉専門	1	3	5
びわこ学院大学短期	10	8	14	その他	12	2	6
京都福祉専門	5	5	2	合計	48	29	44

(2) 介護福祉士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	156	62,402	207	64,177	158	54,558

(3) 介護福祉士修学等資金返還推移 (千円)

返還	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	134	7,886	193	9,661	173	10,051

(4) 介護福祉士修学資金貸付事業の広報

①県内の高校、施設事業者等への募集要項やチラシの配布

②修学資金にかかる勉強会

令和4年12月23日 県、国際介護・福祉人材センター、介護・福祉人材センター

地域福祉課

(滋賀県ボランティアセンター)

(滋賀県災害ボランティアセンター)

(滋賀県権利擁護センター)

1 コロナ禍における生活困窮者支援の推進

(1) 「滋賀の子ども・若者のほほえむ力サポート事業」(商品券配布事業)の実施

<事業内容>

コロナ禍の長期化や物価高騰等の影響を受けている、低所得の子育て世帯等に対して、子ども若者ひとりにつき5,000円分の商品券1セットを配布するとともに、暮らしの様子を尋ねるアンケート調査を実施した。

<事業の対象者>

- 1) 生活福祉資金貸付制度のコロナ特例貸付のうち、総合支援資金を3か月以上借りている世帯に属する18歳以下の者(※2023年3月31日現在で18歳以下の者)
- 2) 自立支援資金貸付制度を利用している者または修了者
- 3) 教育支援資金貸付等を利用している高校生・大学生・専門学校生

<事業の実施期間> 2022年6月～2023年2月末

<実施の方法>

当初、インターネット上の申し込みフォームからの申請での対応をしていたが、10月以降、対象者に商品券を届けることを優先するため、全ての対象者にプッシュ型で商品券を送付。

<商品券を配布した対象世帯と配布結果(2023年2月末時点)>

	対象世帯数 (件)	配布世帯数 (件)	配布率 (%)	配布人数 (人)
ア) コロナ特例利用世帯	4,730	4,493	95.0%	8,037
イ) 自立支援資金利用者	66	63	95.5%	63
ウ) 教育支援資金利用者	405	390	96.3%	423
合計	5,201	4,946	95.1%	8,523

○配布した商品券の合計金額

5,000円分(1セット)×8,523人=42,615,000円

<暮らしに関するアンケート調査について>

アンケートは、①7～10月、②12月～2023年2月末の2回に分けてとりまとめた。

実施時期	7～10月	12～翌2月
配布数	5,016	2,046
回答数	2,892（回答率57.7%）	19（回答率0.9%）
子どもの感想	152	29

<結果の概要（特例貸付利用世帯）※7～10月アンケート分>

- ・対象者の職業は、正社員が30%、非正規社員35%、自営業21%、無職10%だった。
- ・生活の中で困っていることについては、「収入が減ったこと」、「日々の生活費に困る」、「子どもの教育費や習い事費用」が多くみられた。
- ・生活にかかる負担については、「食費」が最も多く、「電気・ガスなどの公共料金」「家賃や住宅ローンなど住宅関連のお金」と続いた。
- ・自由記述の記載は615件あり、日本語以外での回答が31件あった。また、「発達障害」や「障害」のことが書かれたものが46件、「不登校」が32件あった。家庭の生活・経済状況に、発達障害や不登校など子どものケアの必要性が関係している状況もみえた。

（自由記述から）

- ・発達障害いと不登校の娘がおり、妻が思うような仕事が出来ない。（40代自営業）
- ・コロナ禍もあって学級閉鎖や早退、休みなどになると、子どもに障害があるためどうしても妻がパートを欠勤する事になるため、生活は苦しいままです。勤務先にも迷惑をかけると精神的にも辛いです。（40代正社員）
- ・精神的にも肉体的にも病気を抱えているので、子どもの将来が不安です。（30代自営業）
- ・小学五年生の長男が、3年ほど前から学校への行きしぶりや不登校に悩んでいます。休みは少し減りましたが、朝から行けず仕事の時間や睡眠時間を削っているため、収入もなかなか安定しません。（40代自営業）
- ・高校の学費が高い（定期代金）、習い事などをさせる余裕がない、子どもが望むことをさせてあげられない。（40代アルバイト）

2 縁創造実践の推進、普及

（1）ひたすらつながりフォーラムの開催

第41回滋賀県社会福祉学会シンポジウムにて開催（別掲）

（2）社会福祉法人等によるフリースペースの推進

社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」の実施の支援を行った。

① 社会福祉法人等によるフリースペース事業の推進 13か所

助成：8か所 コロナ禍のため活動休止：5か所

② フリースペース運営者・子ども支援関係機関の交流会

開催日 令和4年6月3日（金） 参加者 12名（事務局含む）

3 滋賀県社会福祉学会活動の推進

(1) 第41回滋賀県社会福祉学会の開催

開催日 令和5年2月22日(水)

会場 県立長寿社会福祉センター

参加者 231人

開催方法 完全参加型

① 自由研究発表 11題、実践報告 18題 全6分科会 29題

② 学会シンポジウム・ひたすらなるつながりフォーラム

テーマ 『若者の声から「共に生きる」を考える～私たちがつなぐ未来へのバトン～』

【シンポジスト】

麻生 知宏 氏 (NPO 法人 Since 代表理事)

今村 崇志 氏 (I. キャンパス 代表)

清崎 鈴乃 氏 (NPO 法人サニーサイド・シェアスペース hinata)

佐藤 すみれ 氏 (NPO 法人 やんちゃ寺 代表)

平田 イヴィ 氏 (かんちゃんの小さな家 運営スタッフ)

松崎 雛乃 氏 (ひなしゅしゅ 代表/デザイナー)

黄瀬 絢加 (滋賀県社会福祉協議会 地域福祉課 福祉総務係 主任)

【コーディネーター】

谷口 郁美 (滋賀県社会福祉協議会 専務理事/事務局長)

動画配信期間 令和5年4月1日～令和5年7月31日

動画再生回数 96回 (令和5年4月20日時点)

③ 奨励賞の授与

受賞者 4名

・「介護老人保健施設におけるリハビリテーションの効果

～入所時の認知機能の差による日常生活動作の改善と在宅復帰について」

社会医療法人誠光会 介護老人保健施設 草津ケアセンター 森本 康弘 氏

・「各市町での介護保険独自ルールの違いについて」

滋賀県介護支援専門員連絡協議会 前田 岳史 氏

・「自立に関する認識調査(第二報) ～当事者・職員・企業の認識～」

滋賀県児童福祉入所施設協議会 調査研究部会 堺 稔 氏

・「滋賀県排尿支援プロジェクトの取り組み～排尿サポーターの育成について～」

滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 高田 佳菜 氏、久保 亜紀 氏

(2) 研究誌「滋賀社会福祉研究第25号」の発行

発行 令和5年2月

4 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

(1) 子どもの笑顔のスポンサー活動の推進

①企業・団体および個人のスポンサー登録の推進

新規 団体 12 件、個人 21 件 計 556 件（企業・団体 431 件 個人 125 件）

②滋賀県内郵便局との包括連携協定に基づく取組み

子ども食堂フェスタへの参画

内 容 缶バッジ作り、ぽすくまと記念写真、ペーパークラフト

③はぐくみ基金への寄付の推進

はぐくみ基金への寄付収納（物品等金額換算分を含む） 21, 315, 856 円

④スポンサーからのサポート（提供）に係るマッチング

- ・バローグループによるフードドライブの取り組み（子ども食堂6団体）
- ・福地製薬株式会社との商品斡旋に関する協定書の締結（うがい薬の斡旋）
- ・株式会社明治との食品の提供・譲渡に関する合意書

(2) 通信の発行、ホームページ等による広報啓発活動の推進

①通信の発行

- ・「はぐプロ通信 vol. 4」 （令和4年6月発行）

②ホームページ・SNS での広報啓発活動

- ・不定期でのホームページ・Facebook・Instagram・LINE・メールマガジンでの情報発信

(3) LINEを活用した情報共有の仕組み構築と運用

子ども食堂実施団体用・スポンサー用それぞれの公式LINE を運用

5 遊べる学べる淡海子ども食堂の推進

子ども食堂の開設支援、物価高における緊急支援助成の実施、子ども食堂相互の交流、情報交換などを通じて、子ども食堂運営者がつながれる機会とした。

(1) みんな集まれ！子ども食堂フェスタ

開催日 令和4年10月22日（土）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 501 名（スタッフ含む）

内 容 子ども食堂カレーサミット、ステージコーナー、遊びコーナー 等

みんな集まれ！コージータウン子ども食堂フェスタ

開催日 令和4年12月3日（土）

場 所 コージータウン

参加者 520 名

内 容 子ども食堂コーナー、遊びコーナー 等

(2) 子ども食堂つながりネットワーク SHIGA 研修・交流事業

①子ども食堂をよりよく運営していくための研修会

開催日 令和5年2月6日(月)

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 会場 31名 オンライン 16名(事務局除く)

内 容 「～会計・税務・助成申請等に関する基礎知識を学ぼう～」

講 師 有限責任監査法人トーマツ

②子ども食堂実践者交流会(2回)

・会場開催

開催日 令和4年7月5日(火)

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 8名(事務局のぞく)

・オンライン開催(ZOOM)

開催日 令和4年7月8日(金)

参加者 19名

(3) 新規立ち上げ子ども食堂の支援

新規立ち上げ子ども食堂 28か所

子ども食堂立ち上げ資金の助成 9食堂

開設支援助成審査会 5回(7月、9月、11月、1月、3月)

(4) 子ども食堂安心・安全促進事業(子ども食堂保険加入促進事業)

ボランティア行事用保険 助成:41件

ボランティア活動保険 助成:18件

(5) 子ども食堂等緊急支援助成(滋賀の子ども若者のほほえむ力サポート事業)

コロナ禍や物価高騰の中で子どもたちを真ん中においた地域づくりを実践している、子ども食堂や生活困窮世帯の子ども居場所活動に取り組む団体に対し助成を行った。

助成要件 ・令和4年9月末日までの間に3回以上活動すること

・1団体あたり10万円上限

助成実績 116か所(子ども食堂95か所、フリースペース4か所、その他17か所)

11,017,411円

6 子ども食堂地域インフラ化の推進

(1) 地域における子ども食堂等の「居場所」の大切さを学ぶ学習会・交流会（6回）

①「地域における子ども食堂等の“居場所”の大切さを学ぶ」研修会・交流会

第1回 彦根会場

開催日 令和4年11月2日（水）

会 場 コージータウン

講 師 柴田 雅美 氏（NPO 法人Links 代表/滋賀大学教育・学生支援機構特命教授）

参加者 27 名

第2回 近江八幡会場

開催日 令和4年12月12日（月）

会 場 近江八幡市総合福祉センターひまわり館

講 師 柴田 雅美 氏（NPO 法人Links 代表/滋賀大学教育・学生支援機構特命教授）

参加者 25 名

第3回 大津会場

開催日 令和5年1月23日（月）

会 場 ふれあいプラザ

講 師 佐藤 すみれ 氏（NPO 法人やんちゃ寺代表）

参加者 15 名

第4回 甲賀会場

開催日 令和5年1月24日（火）

会 場 まちづくり活動センター『まるーむ』

講 師 幸重 忠孝 氏（特定非営利活動法人こどもソーシャルワークセンター理事長）

参加者 37 名

(2) 子ども食堂図書室や子ども食堂防災教室等、滋賀ならではの子ども食堂の活動モデルづくり

①子ども食堂図書室

本（スポンサー企業の提供）と本棚（NPO 法人レイカディアえにしの会制作）を寄贈
10 か所

②地域における防災教育に関する研修会

開催日 令和5年2月9日（木）

内 容 講演：「子どもへの防災教育についてのポイント」

講師：NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 森谷 哲 氏

事例紹介：「キッズ防災やっています」

事例発表者：むさっ子食堂 石田 幸代 氏
滋賀県/NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ/むさっ子食堂 と共催

(3) 子ども食堂の複合的価値に関する調査研究（さくら・えにしプロジェクト）

「子ども食堂が生み出す価値」を可視化し、社会に適切に伝えることで、子ども食堂の取組を拡大することを目的に、特定非営利活動法人全国こども食堂支援センターむすびえと共働で調査研究を行った。

① さくらの花びらサポートキット活用について

会議4回、視察1回（新旭駅前ふれあい食堂の評価モデル構築のための視察）、ワークショップ2回

参加者 10団体

② さくらプロジェクトふりかえり会

ワークショップで各子ども食堂でのそれぞれの傾向知り、その傾向に応じて収集したデータを用いて振り返りを実施

開催日：令和5年3月2日（木）13：00～16：00

会 場：県立長寿社会福祉センター

講 師：株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 千葉 直紀 氏

参加団体数：10団体

③ 子ども食堂に関する「価値研究会」（全国版）

全国5拠点の子ども食堂地域ネットワークでのエピソードワークショップからのエピソードから様々なステークホルダーが考える価値のあり様について考察した。

開催日 令和5年1月19日（木）・3月20日（月）

(4) 各地のお宝シェアしたい～情報連携プロジェクト～（お宝プロジェクト）

各都道府県子ども食堂中間支援団体で、全国での子ども食堂への特色ある地域の活動や毎月テーマの事例収集を行った。 10回

(5) 社協×むすびえ横断会議

各社協が取り組む子ども食堂との協働実践を共有し、地域での取組みを全国に広げるための研修会を実施した。

（登壇者）認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ 湯浅 誠 氏

全社協 地域福祉部長 全国ボランティア・市民活動振興センター長 高橋 良太 氏

「社協と子ども食堂」～共生社会や包括的支援との関係～

（テーマ1）予算化される前からの取り組み事例

（テーマ2）事業化後の取り組み事例

参加者：407名（会場：滋賀・青森・東京・福井・奈良・大阪・鹿児島・オンライン）

(6) 地域の特色ある子ども食堂の取組みを事例収集し、通信等で発信。

- ・「子ども食堂だより vol.10」(令和4年5月発行) 2,000 部
- ・「子ども食堂だより vol.11」(令和4年7月発行) 2,200 部
- ・「子ども食堂だより vol.12」(令和4年9月発行) 2,200 部
- ・「子ども食堂だより vol.13 フェスタ特大号」(令和5年2月発行) 2,000 部
- ・「子ども食堂だより vol.14」(令和5年3月発行) 2,000 部

7 滋賀県地域養護推進事業

社会的養護を経験した者をはじめ、生きづらさを抱えた若者に対し、福祉、就労、保健医療、教育および司法等の関係者や県民等が共働して生活支援、就労支援、居場所づくり等を行う 滋賀県地域養護推進事業を受託・実施した。その中で「つながり若者センターマザーボード」を運営し、令和4年12月には「つながり若者センターコージョータウン」を新たに開所した。2センターでは、生きづらさを抱えた若者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

(1) 対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

【つながり若者センターマザーボード相談支援実績】

内 容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計	個別会議
	2, 587 件	861 件	281 件	25 件	3, 754 件	99 件
方 法	来所	訪問	通信（電話・メール等）		同行	
	373 件	346 件	2, 603 件		95 件	

【つながり若者センターコージョータウン相談支援実績】

内 容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計	個別会議
	69 件	15 件	43 件	12 件	130 件	11 件
方 法	来所	訪問	通信（電話・メール等）		同行	
	61 件	9 件	39 件		1 件	

上記、若者に対する相談・支援に加え、各児童養護施設より自立支援員、アフターケア担当職員、SVとして参与2名が参加し、全体の進捗状況の確認、意見交換のため定例の進捗会議を、11回実施した。

(2) 対象者に関する「継続支援計画書」の作成

児童養護施設 令和5年3月退所者 20名

(3) 居場所づくり事業の企画および実施

①マザーボード若者食堂

NP0 法人四つ葉のクローバーと共催

原則月の最終週土曜日・日曜日に開催し、全 20 回実施（コロナ感染拡大時には中止あり）

主に、マザーボード（守山市守山 6 丁目 10-68）を開催場所とし、延べ 480 名が参加

②コージータウン若者食堂

令和 4 年 12 月以降、コージータウンカフェにて平日夜、土曜日日中の全 8 回開催し、延べ 84 名が参加。

③おやこサロン

コージータウンカフェにて、毎週金曜日午後に開催し、全 14 回実施。バルーンアートや紙芝居、軽運動などの活動を提供し、主に未就学の子どもとその親、延べ 142 名が参加。

(4) 広報・啓発

①つながり若者センターコージータウン トークセッション

つながり若者センターコージータウンのオープニングイベントとして、ライター小坂綾子氏の進行のもと、さざなみ学園園長辻氏、同園心理職高島氏、つながり若者センター中島統括員によるトークセッションを開催し、県内各団体・施設職員 30 名の参加があった。

開催日 令和 4 年 12 月 9 日（金）

場 所 コージータウン

②若者イベントの開催

生きづらさを抱える若者等を対象にクリスマスイベント、巣立ちイベントの 2 回を開催した。テーブルゲームなどの活動を提供した。巣立ちイベントでは音楽ライブも開催した。

開催日 令和 4 年 12 月 24 日（土）、令和 5 年 3 月 18 日（土）

場 所 ともにコージータウン

(5) 研修等

つながり若者センタースタッフおよび各施設職員を対象に、社会保険労務士を講師に招き障害年金に関する勉強会を開催し、約 20 名の参加があった。

8 滋賀ならではの地域養護・社会との架け橋づくり

児童養護施設等で暮らしている子どもたちに対して仕事体験を実施し、入所中から働くことへの理解を深めて、子どもの職業観を育成するとともに、企業や地域社会の社会的養護への理解を促進した。

(1) ハローわくわく仕事体験の実施

①協力企業等の開拓

協力企業・事業所数：185 企業・事業所（新規開拓 15 企業・事業所）

②中高生の「ハローわくわく仕事体験」の実施

ア. 夏休み 参加者 10 名、企業 9 社

イ. 冬休み 参加者 9 名、企業 8 社

ウ. 春休み 参加者 3 名、企業 3 社 計：延べ 22 名体験 20 企業

③小学生の「工場・職場見学」の実施

ア. 夏休み 見学者 4 名、企業 4 社

イ. 冬休み 見学者 4 名、企業 4 社

ウ. 春休み 見学者 1 名、企業 1 社 計：延べ 9 名見学 9 企業

(2) 地域養護推進協議会とのタイアップによる架け橋セミナー等の開催

①中高生対象のプロフェッショナルセミナー（各施設を会場にして実施）

施設等名	開催日	参加企業	参加児童	参加職員
小鳩の家	令和4年5月29日	5社 7名	15	8
湘南学園	令和4年6月19日	4社 5名	25	21
守山学園	令和5年2月18日	4社 6名	14	7
鹿深の家	令和4年6月25日	6社 8名	19	12
さぎなみ学園	令和4年6月18日	5社 8名	12	5

②小中学生対象の「しがの子ども仕事体験PARK」

開催日：令和4年8月4日（木）

場 所：長寿社会福祉センター

参加企業：15 社 40 名

参加児童：71 名、高校生ボランティア 9 名、職員 16 名

(3) 子どもたちが自身の将来について考えるきっかけに向けたキャリアアップセミナーの開催

①小中学生対象

開催日 令和4年7月18日（月）

会 場 県立長寿社会福祉センター

内 容 ≪すきなもののビンゴ&お仕事マップ≫

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

参加者 小中学生 31 人、職員 17 人

②中高生対象

開催日 令和4年10月30日（日）

会 場 長寿社会福祉センター

内 容 “自分を知る”ことをさらに深め、人が本来持つ“気質”の側面からアプローチするプログラム。自分自身の“気質”を知り、他のタイプの気質を知ること、自分を肯定し、他者も尊重することができ、他者への関わりのヒントを得る。

参加者 中高生 18 名 職員 9 名

(4) プレキャリアセミナーの開催

子どものキャリア教育プログラムの効果を高めるため、生活を共にする大人に向けた研修また自立支援に必要な関わりについての学びを深める場として実施

① 第 1 回 プレキャリアアップセミナー

開催日 令和 4 年 5 月 30 日 (月)

会 場 長寿社会福祉センター

内 容 子ども向けに実施するキャリアアップセミナーを職員の日常的な関わりによって、より効果的にすることと子どもの生き方を育み“引き出し、認め、育てる”関わりについて学びを深める研修会

参加者 施設職員 24 名、FH・里親 4 名、若者支援団体 5 名、県職員 1 名、本会職員 4 名、その他 1 名、KMP スタッフ 7 名 計 46 人

② 第 2 回 プレキャリアアップセミナー

開催日 令和 4 年 10 月 3 日 (月)

会 場 龍谷大学社会学部 6 号館プレゼンテーション室

講 師 一般社団法人 C&F 協会 TRUE COLORS 友井 真人 氏、中野 満知子 氏 他

参加者 児童養護施設職員 20 名、FH・里親 3 名、若者支援団体 2 名、大学生 1 名、地養協 4 名 計 30 名

(5) 啓発活動 広報誌を 3 回発行

- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 1 3 2022 年 7 月発行 : 発行 230 部
- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 1 4 2022 年 10 月発行 : 発行 230 部
- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 1 5 2023 年 3 月発行 : 発行 230 部

9 ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業の推進

(1) ひきこもり電話相談の実施

① 『奏~かなで』との協働による定期電話相談 (週 1 回)

実施曜日・時間 毎週木曜日 12 時~18 時

相談件数 93 件 (新規 30 件、継続 50 件、調整 13 件、再開 0 件)

② 県内複数地域での一斉電話相談会

当事者や家族の不安感を和らげるとともに、啓発を目的とし一斉電話相談を実施。

実施日 (第 1 回) 令和 4 年 9 月 15 日 (木)、16 日 (金) 相談件数 10 件

(第 2 回) 令和 5 年 2 月 9 日 (木)、10 日 (金) 相談件数 6 件

10 機関 9 箇所 (1 機関が新規参画) で相談実施

③電話相談員向け研修（2回）

第1回 令和4年9月6日（火） 参加者 34名（20機関）

内 容 「ひきこもりについて学ぶ～当事者の思い、親の願い～」

第2回 令和5年2月7日（火） 参加者 34名（22機関）

内 容 講演①：「ひきこもりの理解と支援」

講演②：「ひきこもり電話相談で大切にしたいこと」

（2）保健福祉圏域におけるアウトリーチ支援体制づくり

訪問支援（アウトリーチ）を実施する3圏域に助成支援を実施。

①甲賀圏域 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで～』による個別支援

支援対象者：63人（新規相談ケース：9件）

②高島圏域 虹の会による個別支援

支援対象者：4人（新規相談ケース：0件）

③湖東圏域（彦根市域） 南彦根クリニックによる個別支援

支援対象者：16人（新規相談ケース：6件）

（3）保健福祉圏域におけるひきこもり支援関係者のネットワークづくり

①各保健福祉圏域における支援関係者のネットワーク構築

県ひきこもり支援センターと連携のもと、各圏域におけるひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加し、先進事例の情報収集および他圏域への情報提供を行った。

I. ネットワークづくり

ア. 各圏域のひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加

・甲賀・湖南ひきこもり支援『奏～かなで～』 運営会議 3回

・東近江圏域2市2町社協 ひきこもり支援にかかる連携会議 2回

・彦根市社会福祉協議会 ひきこもり支援ネットワーク会議等 6回

・高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」支援者ネットワーク会議 2回

イ. フォーラム開催支援等

・湖南圏域において実行委員会（4市社協、民間1団体、県社協）によるフォーラム開催

内 容 『長期高齢化するひきこもり者に家族や支援者は何ができるか～当事者から語る8050問題～』

開催日 令和5年3月12日（日） 参加者 88名

会 場 湖南広域消防局 北消防署

II. 地域における啓発、居場所・はたらく体験の場づくり等への支援 7圏域13カ所

②支援者同士の情報共有・連携を目的としたひきこもり支援に関する社会資源マップの作成、県内の支援機関が活用できるプラットフォームの運用

I. 『ひきこもり支援資源マップ』の発行および更新（年2回）

II. 『ひきこもり者等支援者ネットワークしが』の運用

III. 支援者交流会の開催（1回）

（4）県域および保健福祉圏域での家族支援の実施

誰もが利用しやすく、安心して参加でき、そして互いに共感し自己肯定感を感じることが
できる場として地域の支援機関と協力し家族教室を実施した。

①滋賀県域 本会場とあわせてサテライト会場を複数カ所設置（オンライン活用）

（1）開催日 令和4年7月2日（土）

会 場 4カ所

講 師 阿星山診療所 本谷 研司 氏

『「ひきこもり」についてわかろうとする試みー当事者不在の「ひきこもり」論ー』

参加者 73名（会場：56名／オンライン17名）

（2）開催日 令和4年11月13日（日）

会 場 5カ所

講 師 ひきこもりUX会議 代表理事 林 恭子 氏

「ひきこもり 家族にできること ～ひきこもり経験者の立場から～」

参加者 38名（会場：36名／オンライン2名）

（3）開催日 令和5年3月19日（日）

会 場 6カ所

講 師 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 上田 理香 氏

「本人の生きる力を支える家族の役割」

参加者 58名（会場：49名／オンライン9名）

②出張型 地域の支援機関と共催（湖南圏域 野洲市社会福祉協議会）

開催日 令和5年3月20日（月）

会 場 野洲のかたすみ

登壇者 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 本部事務局長 上田 理香 氏

参加者 6名

（5）働く場づくり「はたらく体験」、居場所づくりの推進

①県社協はたらく体験の企画実施

開催回数 月1回 年間計12回 のべ参加者 76人

内 容 封入作業、車いす・福祉用具整備清掃、イベント準備、パソコン入力等の
作業連携機関・団体

②支援（サポート）機関による支援プラン会議の開催 月1回 計12回

③県社協でのサロンづくり 「PCスポット ポチポチいこか」の企画実施

実施数 月1回 計12回 のべ参加者 26名

(6) 地域啓発・啓発資材の整備

①民生委員児童委員等対象啓発資材（DVD等）の作成

講師 岡山県立大学 准教授 周防 美智子 氏

「ひきこもりの理解と支援～家族のつながり・地域のつながり～」

内容 ひきこもりについての定義および地域における支援について短時間にまとめたDVD

配布先 民生委員児童委員関係先177カ所、県内図書館51カ所

②「ひきこもり支援資源マップ」の作成および更新【再掲】

内容 県内のひきこもり支援実施機関・団体、相談窓口一覧

③啓発および相談窓口掲載チラシの作成

内容 ひきこもりを正しく理解するための啓発メッセージ、滋賀県内の相談窓口一覧

(7) ひきこもり・働きづらさ支援推進委員会の開催

県域でのひきこもり支援関係者による情報・意見交換の場である、ひきこもり支援・働きづらさ支援推進委員会を3回開催した。

(8) 民生委員児童委員等ひきこもり支援に関する研修会の開催

①「ひきこもり支援のための研修会」（2日間コース）

開催日 令和4年10月12日（水）、10月26日（水）

会 場 県立長寿社会福祉センター

参加者 35名

②「中高年層ひきこもり従事者研修」（精神保健福祉センター共催）

開催日 令和5年2月17日（金）

会 場 G-NETしが 男女共同参画センター

参加者 17名

10 生きづらさを抱える人への支援の推進

(1) 重層的支援体制整備推進事業の推進

包括的・重層的支援体制を進めるため、市町や市町社協等対象の勉強会を計6回開催した。勉強会という目的の上で、関係者同士の交流・ネットワークづくりを重視した。

<1回目>令和4年6月8日（水）

・会 場：県立長寿社会福祉センター

・テーマ：重層的支援体制についての基本知識を学ぶ

・内 容：（講義）同志社大教授 永田祐氏

「包括的な支援体制と重層的支援体制整備事業の体制整備に向けて」

- ・参加者：市町の担当課長・担当者、社協課長・担当者など43人
- <2回目>：令和4年8月2日（火）午後
 - ・会 場：県立長寿社会福祉センター
 - ・テーマ：「参加支援」と「地域づくり」を学ぶ
 - ・内 容：「県外の参加支援と地域づくりの先進事例について」
「守山市の参加支援と地域づくりの実践」
- ・参加者：市町の担当課長・担当者、社協課長・担当者など43人
- <3回目>令和4年9月30日（金）
 - ・会 場：県立長寿社会福祉センター
 - ・テーマ：町を対象とした勉強会
 - ・内 容：「御浜町における地域共生社会の実現に向けた取り組み」
「竜王町における重層の取り組みについて」
- ・参加者：町の担当者、町社協職員17人
- <4回目>令和4年11月9日（水）
 - ・会 場：県立長寿社会福祉センター
 - ・テーマ：多機関協働にかかる勉強会
 - ・内 容：「高島市での多機関協働の取り組み」
「長浜市での多機関協働の取り組み」
「移行準備中の栗東市からの報告」
- ・参加者：市町担当者、社協職員など47人
- <5回目>令和5年1月16日（月）
 - ・会 場：オンライン
 - ・テーマ：「多機関の協働で実現する重層的支援体制」
 - ・内 容：重層の一端を担う「社会福祉協議会」に焦点をあて、多機関の協働による地域 共生社会にむけて、参加者全員で考える。
コーディネーター＝長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 山岡 伸次 氏
- ・参加者：市町担当者、社協職員など75人
- <6回目>令和5年2月28日（火）
 - ・会 場：県立長寿社会福祉センター
 - ・テーマ：一年の取り組みを振り返り、次年度を考える
 - ・内 容：テーマ「1年間の取り組みを振り返る」
「甲賀市の重層的支援体制整備事業～1年間の取り組み紹介～」
講演「包括的な支援体制と重層的支援体制整備事業の進展」
（講師）同志社大学社会学部教授 永田 祐 氏
- ・参加者：市町行政や社協職員など33人

(2) 生活困窮者支援担当者研修会（都道府県研修）の開催

生活困窮者自立支援制度における支援員等が求められる倫理と基本姿勢を学び、専門職として必要なソーシャルワークの基本を習得することを目的に開催した。

<前期研修> 令和4年6月30日（木）

- ・ 会 場：県立長寿社会福祉センター 研修室
- ・ 参加者：44人
- ・ 内 容：講義「支援員に求められるソーシャルワークの基本」

（講師）同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 空閑 浩人 氏

<後期研修1日目> 令和4年10月6日（木）

- ・ 会 場：草津市立市民交流プラザ・大会室
- ・ 参加者：24人
- ・ 内 容：講義「支援員に必要なソーシャルワークの基本」

（講師）同志社大学社会学部社会福祉学科 教授 空閑 浩人 氏

<後期研修2日目> 令和4年10月11日（火）

- ・ 会 場：草津市立市民交流プラザ・大会室
- ・ 参加者：27人
- ・ 内 容：①講義「ヤングケアラーと生活困窮者支援」
②講義「生活困窮者支援の現場から学ぶ」

(3) 生活支援体制整備事業の推進

①生活支援コーディネーター基礎研修の実施

開催日 令和4年6月29日（水）10:00～16:00

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 会場26名／オンライン20名

内 容 講義「地域福祉の推進における生活支援コーディネーターの役割」

講師 同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏

事例報告・グループワーク「生活支援体制整備事業の進め方と役割」

②生活支援コーディネーター学習・情報交換会の開催

【第1回】 令和4年12月19日（水）13:30～16:30

場 所 草津商工会議所

参加者 46名

内 容 講義「生活支援コーディネーターとしての動き方

～地域への入り方・まざり方（しかけの工夫）と地域資源の生かし方～」

講師 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文 氏

実践報告「当事者主体で福祉のまちづくり～支え合いマップづくりから自助マップづ

くりへ〜」

【第2回】令和5年3月2日（木）13：30～16：30（オンライン開催）

参加者 33名

内 容 共有「滋賀県内の取り組み状況について」県健康医療福祉部医療福祉推進課
講義・事例紹介「地域マネジメントの必要性および生活支援コーディネーターに
求められる役割～大東市の取組をとおして～」

講師 大阪府大東市保健医療福祉部高齢介護室 課長 逢坂 伸子 氏

③オンライン・カフェの開催

【第1回】令和4年7月14日（木）13：30～15：00（オンライン開催）

参加者 9名

内 容 アイスブレイク、フリートーク

ファシリテーター 彦根市社会福祉協議会 森 恵生 氏

【第2回】令和5年3月10日（金）13：30～15：00（オンライン開催）

参加者 10名

内 容 話題提供「当事者主体で福祉のまちづくり～自助マップ～」

④生活支援体制整備事業推進会議の開催（年間3回）

【第1回】令和4年6月14日（火）

場 所 滋賀県立男女共同参画センター

参加者 会場：5名 オンライン：2名

内 容 令和4年度の事業概要について、基礎研修および学習・情報交換会等の企画検討 他

【第2回】令和4年10月4日（火）

場 所 滋賀県庁

参加者 会場：3名 オンライン：5名

内 容 基礎研修振り返り、学習・情報交換会の振り返りおよび次回の企画検討 他

【第3回】令和5年3月22日（月）

参加者 オンライン：7名

内 容 学習・情報交換会の振り返り、令和5年度の事業推進について

（4）女性のつながりサポート事業

生きづらさや困難を抱える女性に相談支援や居場所の提供を行うとともに、必要とされる方に生理用品の配布を行った。

①相談支援

ア. なんでも相談会の開催

イベント等	開催日	場所
-------	-----	----

保活直前！お仕事探し応援ウィーク	令和4年9月8日	キラリエ草津
	令和4年9月15日	甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」
私の暮らしにフィットする働き方展	令和4年11月2日	クサツエストピアホテル
	令和4年11月15日	マリアージュ彦根
#みんなで元気になろうフェス	令和5年3月18日	G-NETしが

イ. 居場所の提供

- ・協力団体向けの交流会を開催

日 時：令和4年7月20日（水）13:30～15:30

内 容：事業説明、協力団体による事例報告、グループトーク

コーディネーター：地域養護推進協議会 中島 円美

事例報告：さつき助産院。YUMEMURA 西村 さつき 氏

ひとり親カフェ ひまわり 小西 由美子 氏

参加者数：14名（うちオンライン参加4名）

- ・子ども食堂や保育園等の民間団体と協働で居場所を提供

協力団体数：子ども食堂19件、保育園2件、その他団体7件

うち令和4年度開催分：子ども食堂14件、その他団体7件

- ・滋賀県社協において月1回程度（計8回）、居場所（「カモミールの部屋」）を開催

②情報提供

(1) 相談・支援窓口等を記載したチラシやカードの作成・配布

(2) ホームページやSNSを活用し、相談会や居場所の周知

(3) 協力団体からの報告書に記載されている女性の声等をまとめた冊子を発行

(4) 協力団体による居場所の様子を記載した「カモミール通信」の発行

③生活困窮者等への生理用品の配布

【県立施設での配布】配布施設数：16団体、配布数：144個

【学校での配布】配布学校数：県立中学校・高校70校、専修学校3校、県立大学1校

配布数：3,024個

【協力団体での配布】子ども食堂、保育園、福祉施設、市町社会福祉協議会等

協力団体数：46団体、配布数：5,509個

1.1 地域福祉権利擁護事業の着実な実施

(1) 新任職員・生活支援員研修会の開催

生活支援員や新しく自立生活支援専門員となった職員を対象に、実務を進める上で必要となる基本的な知識の習得や相談のきき方、アセスメント等を学ぶための研修を開催。

【1日目】令和4年5月27日（金） 参加者 24名

内 容 講義1「地域福祉権利擁護事業について」
講義2「権利擁護と相談の基本を学ぶ」

【2日目】令和4年6月9日（木） 参加者 24名

内 容 講義1「認知症の人の理解と支援について」
講義2「知的障害者の理解と支援について」

【3日目】令和4年6月14日（火） 参加者 25名

内 容 講義1「精神障害者の理解と支援について」
講義2「グループワーク」

(2) 地域福祉権利擁護事業 担当課長・専門員等担当者会議等の開催

- ・担当課長会議1回、専門員会議1回、専門員・課長会議1回の計3回開催
- ・近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業・成年後見制度担当者会議への参画【令和4年9月29日（木）】

(3) 契約締結審査会の開催

令和4年度：開催なし

(4) 地域福祉権利擁護事業に対する相談支援等

電話、面接による高齢者、障害者の権利擁護に関する相談対応の実施。また、権利擁護に関する相談に対して、その内容に応じて関係機関と連携し、支援のあり方等について協議を実施。

① 市町村社協への支援（助言、訪問等）

- ・各市町村社協の個別ケースへの相談を受け付け、助言を行った。（31件）
- ・運営適正化委員会が行う定期現地調査に同行し、協力を行った。
（守山市、近江八幡市、甲賀市、彦根市、草津市、栗東市、日野町、多賀町、愛荘町）

② 各市町村社協における契約状況等に関する集計

各市町村社協における利用者種別ごとの相談援助件数等の集計と全社協への報告の実施

(5) 権利擁護の推進

① 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターへの協力

主に下記委員会に委員として出席し、適宜情報提供および助言等を行った。

- ・長浜市成年後見・権利擁護センター（社協）運営委員会
- ・彦愛犬権利擁護サポートセンター運営委員会
- ・米原市権利擁護センター（社協）運営委員会
- ・成年後見センターもだま運営適正化委員会

② 関係機関会議への参画

- ・成年後見・権利擁護センター、成年後見制度に関わる団体等との会議等への参画
- ・障害者自立支援協議会事業部会への参画
- ・その他関係機関会議（無戸籍、要保護児童対策、自殺対策、再犯防止等）への参画

③ 権利擁護基盤づくりための啓発活動

- ・HP等による啓発
- ・人権啓発ネットワーク会議への参画

④ 成年後見制度利用促進に係る会議の開催等

ア. 法人後見実施社協間の情報交換会

開催日 令和4年5月12日【オンライン】

内 容 ・成年後見制度の受任状況について

- ・地権事業からの移行の有無、住み分けの考え方について
- ・法人後見をするにあたっての行政からの支援および全体収支等
- ・中核機関としての役割、進捗について

参加者 法人後見実施5社協

イ. 情報提供

制度改定や、持続可能な権利擁護支援モデル事業、成年後見制度利用促進都道府県 交流会等の資料の情報共有を、県内の成年後見実施団体へ提供した。

ウ. 成年後見制度利用促進都道府県交流会等への出席（オンライン） 6回

(6) なんでも相談会等への協力

①なんでも相談会への職員の派遣

- ・東近江圏域（1回）、米原市（1回）、高島市（2回）、彦愛犬圏域（2回）

②市町社協への情報提供

- ・全社協等の関係機関からの権利擁護支援体制整備や外部研修などの情報提供
- ・各市町社協の課題等に対する取り組み状況集約

(7) 地権事業での金融機関の利用サービスについて

①金融機関との新規契約への助言

金融機関：京都中央信用金庫 契約社協数：4市

②金融機関のサービス提供に係る調査

一部の金融機関でサービスの利用制限があることから、各市町社協に対し調査を実施。あわせて、関係金融機関に確認（6金融機関・17項目）の実施。

③有事における金融機関利用について

震災等をはじめとした有事における金融機関の窓口利用の事務取扱について取り決めた。

対象金融機関：滋賀銀行 追加契約：19市町社協

(8) 「地域福祉権利擁護事業 地権事業利用者生活状況等調査」の実施

コロナ禍の中での地権事業利用者の生活状況等を調査するとともに、コロナ禍における各市町社会福祉協議会に支援状況や課題等を聞き、集約した。

＜調査実施期間＞令和4年8月1日～11月30日

＜調査対象および方法＞

○実施状況等調査（総括調査）

対象＝滋賀県内全19市町社協

方法＝各市町社協が記述・滋賀県社協による聞き取り

○利用者生活状況等調査（個人調査）

対象＝令和4年7月1日現在の滋賀県内の地権事業利用者 1,458名

方法＝各市町社協の当該事業担当専門員または生活支援員による対面での聞き取り

＜調査結果の概要＞

- ・市町社協における地権事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大当初より、生活を支える欠かせない事業として継続された。市町社協には、ワクチン接種をはじめ、感染対策、感染への不安や行動制限等にかかるストレスを要因とする地権利用者からの相談が多数寄せられた。
- ・地権事業の課題として、利用者に対するコロナ感染対策の説明や理解、感染時の生活支援をどこまで社協が担うかが挙げられた。
- ・利用者生活状況等調査（個人調査）では、ワクチン接種の手続き等の相談先としては福祉サービス事業所をはじめとした支援者や家族の支援によるところが大きいことがわかったが、コロナ禍における生活への影響は明確にならなかった。
- ・物価上昇による生活への影響については、生活保護受給率が高い精神障害者やパート・契約社員等は、よりやりくりが厳しくなるとの回答となっていた。
- ・コロナ禍による困りごととしては、ワクチン接種手続きへの困惑に加え、感染に対する不安、人との交流が減ったことにより「さみしい」「不安」「しんどい」等精神的な影響があったことが回答に表れていた。

1.2 障害の社会モデル・障害者の権利擁護の推進

(1) 権利擁護相談、障害者110番事業の運営

高齢者、障害者の権利擁護にかかわる電話相談、面接相談に対応した。

相談対応状況 40件（詳細は下記のとおり）

① 一般相談件数

	相談受付	相談者	相談方法
--	------	-----	------

	件数	本人	家族・親 族・知人	関係機 関 他	電話	来所	訪問	その他
今年度合計	40	33	7	0	36	2	0	2

ア 知的障害者に関する相談	7件
イ 精神障害者に関する相談	12件
ウ 身体障害者に関する相談	5件
エ 高齢者に関する相談	11件
オ その他	5件

②相談員のスキルアップ

相談員研修会（主催：全国社会福祉協議会）への参加（動画配信による研修）

③広報・啓発

- ・ 障害のある方や高齢の方への、暮らしや福祉、虐待など権利擁護に関するさまざまな相談に応じる窓口をホームページで周知。
- ・ 障害者虐待防止啓発ウェットティッシュ作成、配布 1,250 個

（2）障害者虐待防止に関わる人材育成・体制整備の促進

障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のために県域における関係機関や団体、関係者等の協力体制の整備や支援体制の強化を図った。

①相談窓口担当職員研修会の開催

(1) 行政職員・虐待防止センター職員を対象に、障害者の権利擁護について学ぶとともに、新規担当職員が、法律の主旨や市町の権限・役割、相談通報の流れ等の理解を図るために開催。

開催日 令和4年5月17日（月） 令和4年8月25日（木） 計2日間

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 1日目：32名 2日目：23名

内 容 （1日目）

講義 「障害者の権利擁護について」

講義 「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」

講義 「滋賀県の障害者虐待の現状と行政の役割について」

講義と演習「虐待対応の流れと虐待対応帳票類の活用について」

（2日目）

講義 「障害者虐待防止対策における、市町村の権限と役割」

講義と演習「虐待対応の流れの実際について」

② 施設従事者向け研修会

障害福祉サービス事業所等の管理者やサービス管理責任者等を対象に、障害者虐待防止に関する基礎知識や障害者の権利擁護への意識啓発、虐待の防止のための組織・運営体制、障害特性に

も配慮した支援方法について、研修を実施。

<南部会場>

開催日 令和4年11月29日(火)

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 45名

内 容 講義 「障害者虐待の防止と滋賀県における障害者虐待の実情について」

講義 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応」

講義と演習「虐待防止のために組織として今後どのように取り組むのか」

<<北部会場>>

開催日 令和4年12月5日(月)

場 所 ビバシティ彦根 ビバシティホール

参加者 42名

内 容 講義 「障害者虐待の防止と滋賀県における障害者虐待の実情について」

講義 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応」※録画

講義と演習「虐待防止のために組織として今後どのように取り組むのか」

<<講義配信>>

配信期間 令和4年12月7日(水)～令和5年3月31日(金)

方 法 動画配信

申 込 者 117名

内 容 講義 「障害者虐待の防止と滋賀県における障害者虐待の実情について」

講義 「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応」

③研修企画会議

滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会コア会議を開催し、研修企画について検討。

日 時：令和4年8月2日(火) 10:00～11:30

場 所：Zoomによるリモート会議

滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会(施設従事者向け)打合せ会議

日時：令和4年11月17日(木) 10:00～11:40

場所：Zoomによるリモートおよび滋賀県立長寿社会福祉センター介護実習室

④国研修参加者の派遣調整

国研修参加者の調整を行った。さらに、研修参加者には施設従事者向け研修会において国研修内容を報告いただいた。

研修参加者2名(湖南圏域2名)

⑤障害者虐待防止広報啓発事業

障害者虐待防止啓発ウエットティッシュの作成、配布 1,250部(再掲)

1 3 市町社協会長会との協働による縁架け橋の推進

(1) 市町社協役員対象研修会の開催

① トップセミナーの開催

開催日 令和5年3月1日(水)

参加人数 48名

内 容 ・講義:「社会福祉協議会と社会福祉施設との協働について」

講師:武庫川女子大学 松端 克文 氏

・事例報告「大津市社協施設連絡会の取り組みについて」

② 市町社協新任職員研修の実施

<1日目>令和4年8月1日(月)

場 所 湖南市社会福祉協議会

内 容 ・講義「社協ってこんなところ!」

・「先輩職員からのメッセージ」

参加者 27人

<2日目>令和4年12月16日(金)

場 所 愛荘町立福祉センター愛の郷(愛荘町社会福祉協議会)

内 容 ・グループワーク「1年を振り返ろう!語り合おう!元気をもらおう!」

参加者 17人

③ 接遇研修の実施(新任職員研修2日目午後)

日 時 令和4年12月16日(金) 午後

場 所 愛荘町立福祉センター愛の郷(愛荘町社会福祉協議会)

内 容 ・講義「接遇対応&コミュニケーション(報連相)研修」

参加者 24人

④ コミュニティワーク基礎研修の開催

開催日 令和4年10月31日(月)

場 所 近江八幡市総合福祉センター(ひまわり館)

内 容 ①講義Ⅰ「社会の情勢と地域福祉」

②講義Ⅱ「地域福祉と社会福祉協議会」

③演習Ⅰ「コミュニティワーク実践のプロセスの理解」

④演習Ⅱ「地域生活課題の把握から地域支援への展開」

講師:武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文 氏

参加者 19人

⑤ 中間マネージャー研修

開催日 令和4年12月12日(月)

場 所 長寿社会福祉センター

内 容 ①講義「目標達成における管理者の役割」「組織の強化」および演習

参加者 18人（県社協職員含む）

⑥事務局長会議の開催

年間2回開催【令和4年11月29日（火）、令和5年1月25日（水）】

⑦市町社協地域福祉部課長会議の開催

年間1回開催（オンライン）【令和4年4月27日（水）】

14 民生委員児童委員研修（県及び大津市委託事業）の実施

（1）人権研修【集合研修+動画配信+DVD貸出】

開 催 日 集合研修：令和4年7月11日（月）14：00～15：40

会 場 草津市市民総合交流センター（キラリエ草津）

内 容 講義「子ども若者ケアラーについて」～今後の若者支援～

講 師 立命館大学 産業社会学部 教授 斎藤 真緒 氏

参 加 者 100名

動画配信 配信期間 令和4年7月26日（火）～令和4年10月31日（月）

再生回数 609回

DVD貸出 各地域・個別研修が可能となるようDVDを作成し、19市町の各市町民児協
に対し貸出を行った。（複製不可仕様）

貸出期間 令和4年7月26日（火）～令和4年10月31日（月）

（2）民生委員・児童委員指導者（会長）研修【集合研修】

開 催 日 令和5年2月21日（火）13：30～16：00

会 場 滋賀県立男女共同参画センター

内 容 講義「委員を支える民児協づくり」～相談しやすい民児協の運営～
グループ討議

参 加 者 119名

（3）主任児童委員研修【集合研修】

開 催 日 令和5年3月1日（水）※午前、午後の2回に分けて開催【入替制】

会 場 滋賀県立男女共同参画センター

内 容 講義「主任児童委員の役割について」～主任児童委員活動ハンドブックの活用～
事例発表、グループ討議

参 加 者 228名（午前：114名 / 午後：114名）

（4）児童委員研修【集合研修+動画配信+DVD貸出】

開 催 日 集合研修：令和4年6月28日（火）14：00～16：00

会 場 滋賀県立男女共同参画センター

内 容 講義「コロナ禍における子どもたちの声」～子どもの居場所～

参 加 者 107名

動画配信 配信期間 令和4年7月26日（火）～令和4年10月31日（月）

再生回数 499回

DVD貸出 個別研修等への対応のためDVDを作成し、各市町民児協に対し貸出を実施

貸出期間 令和4年7月26日（火）～令和4年10月31日（月）

(5) 新任民生委員・児童委員研修【集合研修+動画配信+DVD配布と貸出】

開 催 日 集合研修 令和4年12月8日（木）～令和4年12月21日（水）

会 場 圏域ごとに開催（7会場）

内 容 下記講義内容をDVDに収め、県と大津市に貸出した。

（ 講 義 ）

1. 民生委員制度について
2. 気持ちに寄り添うコミュニケーション ～支えあう地域のために～
3. 活動記録の記入について
4. 生活福祉資金貸付制度について
5. 体験談

参 加 者 1,284名（大津213名、南部197名、甲賀183名、東近江239名、湖東134名、湖北228名、高島90名）

(6) ICT研修（令和5年度 継続）

今後、動画配信やリモート研修などICTの推進を図るため、基礎研修の内容検討を行った。方法 民生委員の方々のICT現状調査・確認、協力いただける民生委員数名からの、ヒアリング

15 滋賀県ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアコーディネーター研修の実施

開催日 令和5年1月27日（金）

場 所 コージータウン

参加者 33名

内 容 ボランティアコーディネーターの基本の確認と、シニア活動のコーディネートについて
講師 京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 准教授 南 多恵子 氏
実践報告

(2) 淡海フィランソロピーネット事務局の運営

①副運営委員長・事務局書記会議の開催

4回開催【令和4年4月20日（木）、8月26日（金）、11月10日（木）、令和5年3月28日】

②運営委員会の開催

2回開催【令和4年6月13日（月）、10月11日（火）】

③総会の開催

開催日：令和4年7月21日（木）

会 場：オンライン

④会員研修の開催

開催日：令和4年12月14日（水） 13：30～15：30

会 場：オンライン研修（ZOOM） 参加者数：24名

内 容：・講演「ヤングケアラー支援に向けて～地域で支えていくために必要な視点～」

講師 立命館大学 教授 斎藤 真緒 氏

・実践報告「ケアを担う子どもたちの実態と心の声～支援の中で見えてきたこと～」

・意見交換（グループトーク…ブレイクアウトルームに分かれて交流）

⑤企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催

開催日：令和5年3月6日（月）

会 場：クサツエストピアホテル 2階 瑞祥の間

参加者：61名（淡海フィランソロピーネット会員39名、会員外14名、事務局8名）

内 容：・講演「Well Being（ウェルビーイング）経営に必要な視点」

・鼎談「誰もがWell-Being（ウェルビーイング）を実現できる地域づくりとは」

ファシリテーター 大久保 寛司 氏

登壇者 ・淡海フィランソロピーネット運営委員長 大道 良夫 氏

・株式会社木の家専門店 谷口工務店 代表取締役 谷口 弘和 氏

・特定非営利活動法人やんちゃ寺 代表 佐藤 すみれ 氏

・知事を囲む交流会

⑥企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催

開催日：令和4年9月27日（火）

会 場：キラリエ草津およびオンライン（ZOOM）

参加者：38名（淡海フィランソロピーネット会員35名、会員外3名）

内 容：講演「中小企業にも差し迫るサステナビリティ経営へのシフト」

（3）しがボランティアネットによる広報啓発

タイムリーに情報発信し、県民のボランティア活動の促進を行った。

延べ訪問者数：92,757件（2022.4.1～2023.3.31）

実訪問者数：47,726件（2022.4.1～2023.3.31）

16 災害時における福祉的支援の推進

(1) 滋賀県災害ボランティアセンターの運営

①災害ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

災害ボランティアセンターのコーディネートに必要な基本知識、スキルの習得を目的として開催。

開催日 令和4年7月21日(木)

場 所 滋賀県危機管理センター

参加者 25名

内 容 講義「災害時のボランティア・市民活動と災害ボランティアセンターについて」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文 氏

ディスカッション「被災地社協が担う役割と災害ボランティアセンターについて」

②県災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施

災害ボランティアセンターの手順の確認、困難な状況への対応ノウハウの蓄積を目的として実施。

開催日 令和4年10月16日(日)

場 所 滋賀県危機管理センター

参加者 17名

内 容 非常体制移行訓練、初動活動訓練、現地災害VCからの依頼対応訓練、状況付与対応訓練、平常時移行訓練

(2) 災害時要配慮者支援の推進

①災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催

要配慮者の避難及び避難生活について、平常時から支援者および当事者が課題を共有し連携を深めることで、災害時に円滑に支援できるようにすることを目的として開催した。

【全体会議】

開催日 令和4年11月28日(月)

場 所 滋賀県危機管理センター(オンライン併用)

参加者 109名(会場37名、オンライン72名)

内 容 講義「災害時の福祉的支援強化について」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文 氏

講演「草津養護学校 学校運営協議会の取り組み」

講演「わが子の命を守るために～自助・共助・公助の観点から～」

報告「『滋賀モデル』(個別避難計画作成)について」

実践報告「モデル地域における個別避難計画作成の取組状況」

実践報告「個別避難計画に対するケアマネのかかわり方について」

【圏域会議】(湖東圏域)

開催日 令和5年3月29日(水)【オンライン】

共 催 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会

参加者 23名

内 容 「高めよう法人の福祉力・防災力 深めよう地域との絆」

講 師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栗原 英文 氏

②えにしの日取り組み推進

3月11日を「えにしの日」、前後1週間を「えにし週間」として、災害時に困難を抱える人の視点で、非常時に備えた訓練や研修を行う団体に対して助成。

- ・えにし週間 令和5年3月4日（土）～3月18日（土）
- ・取り組み団体 18団体
- ・重点取組 地域コミュニティを意識した防災学習
- ・個別避難計画を活用した訓練・学習会
- ・子どもの防災教育

③しがDWA T養成研修の開催

しがDWA Tのチーム員として必要な知識・技術を習得することを目的として実施。

<北会場>令和4年11月13日（日）

会 場 COZY TOWN

参加者 19名

<南会場>令和4年11月14日（月）

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 24名

内 容 DWA Tの機能と実際の支援展開を学ぶ基礎的講義・演習

④しがDWA Tフォローアップ研修の開催

チーム員の知識・技術の向上、他の専門チームの活動の理解、現場での多職種連携のための知識の習得を目的として実施。

開催日 令和4年12月22日（木）

会 場 滋賀県危機管理センター（オンライン併用）

参加者 43名（会場11名、オンライン32名）

内 容 講義 「発災当初の医療・保健モデルに加えて福祉モデルへのバトンパスの重要性について」

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文 氏

報告「長野県における台風19号災害への保健活動の実践と今後の災害時の多職種連携のあり方について」

報告「西日本豪雨災害、台風19号災害での支援経験を踏まえたDWA Tの研鑽と多職種連携の取り組み状況について」

⑤しがDWA Tリーダー養成研修の開催

被災地の避難所でチームを統括するリーダーとして活躍する人材養成を目的として実施。

開催日 令和5年1月31日（火）

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 16名

内 容 実践報告「避難所におけるDWA Tの活動」

講義 「避難所におけるDWA T活動の視点」

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文 氏

演習・ケーススタディ

⑥しがDWA Tチーム員訓練の実施

DWA Tチーム員が適切な初動活動を行うための必要な知識・技術等の習得を目的として実施。

実施日 令和5年3月14日(火)

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 35名

内 容 ①資機材設置訓練、②相談対応訓練

⑦チーム員登録状況

198名登録(令和5年3月現在)

【主な保有資格】

社会福祉士	介護福祉士	介護支援 専門員	保育士	精神保健 福祉士	管理栄養士	看護師
49名	104名	65名	38名	12名	10名	10名

レイカディア振興課

1 滋賀県レイカディア大学の運営

高齢者に健康と生きがいづくりのための実践的な知識や教養、技能を修得する学習機会を提供し、県内の高齢者の自立と地域貢献に寄与するようレイカディア大学を運営した。

また、令和4年10月に米原校をCOZYTOWN(アル・プラザ彦根内)に移転し、草津校・米原校の名称をそれぞれ草津キャンパス・彦根キャンパスに変更し、カリキュラムも一部見直した。

(1) 米原校の移転(10月)および草津校・米原校の名称変更

- ・草津キャンパス：県立長寿社会福祉センター内
- ・彦根キャンパス：COZYTOWN(アル・プラザ彦根内)

(2) 楽しく豊かに生きるための基礎講座(9月までは必修講座)および選択講座の実施

◆必修講座(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

学習領域	主な学習内容	学習時間(実績)
		1年(43期)
人間理解	福祉、人権、健康、保健、安全、仲間づくり、家族	[草津校]

郷土理解	自然、歴史、文化、芸術、自然保護、環境保全、街づくり、地域振興	52 時間 (13 日)
社会参加	政治、経済、社会、国際理解、生涯学習、ボランティア（地域活動体験学習等）、自己実現	[米原校]
学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、ボランティアの日	52 時間 (13 日)

◆楽しく豊かに生きるための基礎講座（令和4年10月～令和5年3月）

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）	
		1 年 (44 期)	2 年 (43 期)
豊かに 生きる	新しい生き方、人生のヒント	[草津キャンパス]	[草津キャンパス]
健康 づくり	からだの健康、こころの健康、つながりと健康、食と運動	58 時間 (15 日)	52 時間 (13 日)
社会参加	ボランティア活動と社会貢献活動、情報・SNS、資格を得る		
くらしと 地域	滋賀の魅力発見、自然と環境、お金と就労、くらし	[彦根キャンパス]	[彦根キャンパス]
学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、その他	54 時間 (14 日)	52 時間 (13 日)

◆選択講座

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）		
		44 期	43 期	合計
園芸学科 [草津キャンパス/ 彦根キャンパス]	庭木・果樹の作り方、土壌・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、その他	44 時間×3 クラス	88 時間×3 クラス	396 時間 (99 日)
陶芸学科 [草津キャンパス]	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の歴史、その他	44 時間	88 時間	132 時間 (33 日)

びわこ環境学科 [草津キャンパス]	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮らし（ゴミの軽減化、エコ生活等）、水質保全、里山保全、その他	44 時間	88 時間	132 時間 (33 日)
地域文化学科 [草津キャンパス]	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44 時間	88 時間	132 時間 (33 日)
北近江文化学科 [彦根キャンパス]	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44 時間	88 時間	132 時間 (33 日)
健康づくり学科 [草津キャンパス/ 彦根キャンパス]	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、レクリエーション等）その他	44 時間×2 クラス	88 時間×2 クラス	264 時間 (66 日)
合 計		396 時間 (99 日)	792 時間 (198 日)	1188 時間 (297 日)

【 学生数 】

(令和5年3月31日現在)

	草津キャンパス									彦根キャンパス									合 計		
	4 3 期生			4 4 期生			計			4 3 期生			4 4 期生			計					
園芸 A	22	15		21	13	1	43	28	1	25	15		34	19	3	59	34	3	102	62	4
		7				7					14				7		3			12	
園芸 B	19	15		17	12		36	27		0			0			0			36	27	
		4				5					9										
陶芸	22	10		20	12		42	22		0			0			0			42	22	
		12				8					20										
びわ環	14	10		20	15	1	34	25	1	0			0			0			34	25	1
		3	1			4					7	1									
地域/ 北近江	27	20		27	20		54	40		17	12	1	24	13	2	41	25	3	95	65	3
		7				7					14				4					8	1
健康	18	6		23	11		41	17		15	4		20	4	1	35	8	1	76	25	1

		12			12			24			11			15			26			50	
計	122	76	0	128	83	2	250	159	2	57	31	1	78	36	6	135	67	7	385	226	7
		45	1		43	0		88	1		22	3		35	1		57	4		145	8

※ 上段：男性、下段：女性。網掛けは、リカレントコース履修生数（外数）。

【学生募集・入学状況（44期生）】

	草津キャンパス	彦根キャンパス	計
定員	145人	70人	215人
応募者	182人	84人	266人
入学者	136人	78人	214人
入学／定員	93.8%	111.4%	97.6%

① 地域活動体験学習

地域活動体験学習では、在学中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らがづくり、地域の人々と共に課題に取り組む力を身につけた。

② 課題学習

学生自らが課題を見出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へとつなげた。

（3）公開講座の実施

レイカディア大学の学びを体験できる機会、認知度向上および卒業生の活躍の場として公開講座を実施し、あわせて大学説明会を行った。

① 公開講座・大学説明会

[草津校]

	開催日	内容	参加者数
1	6月3日（金）	災害時に活かされる地域の力・自衛隊の力 ～平常時の備え、災害時の自助・共助・公助～ 講師：自衛隊滋賀地方協力本部本部長 浅田 健	9
2	6月24日（金）	C02 ネットゼロ社会づくり 講師：滋賀県 C02 ネットゼロ推進課	11
3	7月1日（金）	本の魅力・自分史の書き方 講師：株式会社大垣書店 平野 篤	19
4	7月15日（金）	パラリンピックを経験して思うこと ～共生社会実現のために～ 講師：パラスポーツメッセンジャー 清水 千浪	17

[米原校]

	開催日	内容	参加者数
1	5月19日(木)	高齢期を楽しく過ごすために ～エンディングノート 私の整理帳～ 講師：社会福祉法人大津市社会福祉協議会 井ノ口 浩士	2
2	6月9日(木)	CO2 ネットゼロ社会づくり 講師：滋賀県 CO2 ネットゼロ推進課	7
3	7月7日(木)	パラリンピックを経験して思うこと ～共生社会実現のために～ 講師：パラスポーツメッセンジャー 清水 千浪	6
4	7月14日(木)	本の魅力・自分史の書き方 講師：株式会社大垣書店 平野 篤	3

② 学科見学会・学科説明会

[草津校]

	開催日	学科	内容	参加者数
1	5月11日(水)	園芸	剪定実習 松の剪定(松のみどり摘み) 樹木医 平塚 英史	5
2	6月6日(月)		花壇づくり フラワーアレンジメント講師 水島 たず子	9
3	6月22日(水)		果樹の病害虫防除 元滋賀県八日市南高校教諭 松原 治夫	14
4	5月17日(火)	陶芸	【作陶】鉢(玉ぶちなど) 陶芸家 灘 さとみ	12
5	6月13日(月)		【施釉・焼成】素焼き窯出し・釉掛・窯詰 陶芸家 灘 さとみ	8
6	7月11日(月)		【作陶】タタラ成形(四角鉢) 陶芸家 灘 さとみ	7
7	5月25日(水)	びわこ環境	【学ぶ】風呂敷再発見 日本風呂敷協会 西澤 良子	1
8	6月8日(水)		【知る観る】琵琶湖の治水・利水と琵琶湖総合開発 石川 俊之	9
9	7月6日(水)		【習う】琵琶湖の水辺環境保全活動 +NPO 活動について びわこ豊穡の郷 沢井 進一	11
10	5月10日(火)	地域文化	明智光秀とその生涯 滋賀県文化財保護課 松下 浩 井上 優	2
11	6月7日(火)		聖徳太子伝承の背景を探る「聖徳太子について」 元東近江市史編纂室長 山本 一博	11
12	7月19日(火)		聖徳太子伝承の背景を探る 「太子伝承の背景を整理する」 元東近江市史編纂室長 山本 一博	2

13	5月26日(木)	健康づくり	健康と運動 講義:「運動と骨粗鬆症・転倒防止」 実習:重心動揺測定 滋賀県立大学名誉教授 寄本 明	8
14	6月13日(月)		健康とヨガⅡ(実技) 健康寿命をのばそう ヨガインストラクター 頼角 紀子	9
15	7月14日(木)		健康と運動 講義:「運動と脳・神経」 実習:棒反応、全身反応時間、調整力に関わる動き 滋賀県立大学名誉教授 寄本 明	24

[米原校]

	開催日	学科	内容	参加者数
1	5月18日(水)	園芸	樹木病虫害の診断と防除 樹木医 田上 知	4
2	6月8日(水)		家庭菜園の管理・追肥・整枝など 元八日市南高校教員 松原 治夫	9
3	6月28日(火)		盆栽の育て方と増やし方 (挿し木・取り木・接ぎ木のやり方) 能登川盆栽同好会会長 大辻 敏雄	8
4	6月3日(金)	北近江文化	卒業生による学科説明・座談会 サポートの会	3
5	6月22日(水)		古地図で訪ねる北近江 江戸～明治 元滋賀県立高校 校長 松井 善和	9
6	7月13日(水)		古地図で訪ねる北近江 読図 元滋賀県立高校 校長 松井 善和	1
7	6月7日(火)	健康づくり	高齢期のこころとからだの健康 敦賀市立看護大学看護学部教授 北村 隆子	1
8	6月29日(水)		地域における健康づくりへのアプローチ 栗東市社会福祉協議会 健康運動指導士 飯田 忍宣	7
9	7月22日(金)		健康と運動(実技) 健康寿命の延伸 高齢期の体力、認知症、コグニサイズ 健康運動指導士 井花 春美	7

(4) オープンキャンパスの実施

「彦根キャンパス」移転の機運と認知度を高め、入学希望者を増やすことを趣旨として開催。

日時：令和4年7月20日（水）13：00～16：30

会場：ビバシティ彦根 1階センタープラザ及び2階研修室

プログラム

①授業体験

(1)園芸学科

「寄せ植えづくり体験」 講師：松原治夫氏（元八日市南高校教諭）

(2)健康づくり学科

「シニア向け健康ヨガ体験」 講師：頼角紀子氏（ヨガインストラクター）

(3)北近江文化学科

「近江の文学」 講師：西本柳枝氏（旅行作家）

②活動体験

折り紙、バルーンアート他 講師：特定非営利活動法人レイカディアえにしの会

③入学相談

窓口 滋賀県レイカディア大学米原校サポートの会

(5) 卒業後の地域活動に向けたサポートの強化

レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポートの会と協働し、より良い大学運営を推進した。

具体的にはコロナ禍における学生生活の支援・学生募集、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディア大学だよりの発行と配布、選任講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

2 S L E C（滋賀レイカディアエクステンションカレッジ）事業の実施

(1) 友活講座の開催

	講座名	講師	開催日	参加数数
1	相手の心に元気を届ける 話し上手・聞き上手レッスン	夢こらぼ 主宰 松尾やよい	11月2日（水）	8
2	鏡に映る私をもっと好きになる いきいき美容セミナー	資生堂ソーシャルエリア パートナー 東沢ゆかり	11月30日（水）	13
3	もっと便利に、もっと楽しむ 現役大学生と学ぶLINE 講座	県社協職員 サポート…滋賀大学学生	12月16日（金）	7
4	体も心もやわらかく♪ 健康ヨガ	ヨガインストラクター 頼角 紀子	1月17日（火） 1月24日（火） 1月31日（火）	15
5	なりたい自分を見つけよう！	京都光華女子大学	1月21日（土）	6

	ボランティア入門	南多恵子		
6	家族と自分の暮らしのために… おうち介護、きほんのき！	滋賀県介護福祉士会	1月22日(日) 2月7日(火) 3月5日(日)	26
7	優雅に健康GET！ 太極拳	滋賀県武術太極拳連盟	2月1日(水) 2月15日(水)	20
8	～写真入門講座～ 写真アカデミア	滋賀県写真連盟 会長 澤野二郎	2月3日(金) 2月10日(金) 2月17日(金)	19
9	自分史から見つける新しい私 ～私(家族)を書き、語る～	自分史活用アドバイザー 富田 有子	2月10日(金) 3月10日(金) 3月17日(金)	7
10	ほっこり、ひといき。 おいしいコーヒーのいれかた	此処珈琲焙煎所 角井 優斗	3月6日(月)	17

(2) プレ企画 春らんまんともに遊ばん交流会

	講座名	講師	開催日	参加者数
1	友活達人講座	夢こらぼ 主宰 松尾やよい	5月26日(金)	20
2	古都古都ウォーク 坂本へGO	大津市観光ボランティア協会 大野光男	5月31日(水)	30

3 アクティブシニアに関する情報の発信

中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりの意識を高めた。

(1) レイカディアえにしの会との協働による卒業生の地域での活躍を発信

- ・令和4年6月1日より、びわこシニアネット内に、レイカディア大学卒業生の地域活動の検索システム「生きがいの森」をスタート
検索数1,221件(6月～3月)

(2) 高齢者向け情報誌「レイカディア通信」の発行

- ・第11号：令和4年4月発行、3,600部発行
テーマ：防災について考える時間
- ・第12号：令和5年2月発行、3,600部発行
テーマ：アクティブシニアのスポーツ・文化交流活動

(3) びわこシニアネットの運営及び情報発信

- ・ ボランティアによるHP更新：毎週月・木曜日、ボランティア登録者数5名
更新回数 60回
- ・ びわこシニアネットアクセス件数
延べ訪問者数：92,757件（2022.4.1～2023.3.31）
実訪問者数：47,726件（2022.4.1～2023.3.31）

4 アクティブシニアの健康と生きがいづくりの推進

高齢者のスポーツ・文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することにより、健康や生きがいづくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流促進、社会参加の拡大を推進。

(1) ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会：28種目開催

【スポーツ等交流大会】開催：23

種 目	実 施 状 況	会 場
卓 球	5月3日	能登川アリーナ
テニス	4月15日	県立希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	5月5日	県立長浜ドーム
ソフトボール	4月10日 4月29日	皇子山総合運動公園多目的運動広場
ゲートボール	5月11日、 5月12日、13日	竜王ドラゴンハット スパーク山東、他
ペタンク	5月26日	大津市和邇市民運動広場
三世代交流マラソン	11月13日	近江八幡市立運動公園周辺
剣 道	6月4日	草津市立武道館
グラウンド・ゴルフ	9月1日～17日 10月22日	梅ノ子運動公園、他 希望が丘文化公園GG場
太極拳	8月27日	ひこね文化プラザ
ソフトバレーボール	4月17日	甲賀市水口体育館
サッカー	5月7日	ビックレイク（守山市）
ウォークラリー	5月22日	大津市内
オリエンテーリング	6月25日	なぎさ公園
弓 道	5月15日	彦根市弓道場
水 泳	5月8日	県立障害者福祉センター
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習	東レ周山グラウンド

ゴルフ	10月17日 11月7日	近江ヒルズゴルフ倶楽部、 ジャパンエースゴルフ倶楽部
ダンススポーツ	6月19日	大津市瀬田公園体育館
インディアカ	5月22日	大津市勤労者体育センター
ターゲットバードゴルフ	5月22日	杣川河川敷コース
バウンドテニス	5月15日	大津市和邇市民体育館
スポーツウエルネス吹矢	5月15日	YMITアリーナ

【文化等交流大会】 開催：4

種 目	実 施 状 況	会 場
囲 碁	4月29日	彦根東高校第2別館
将 棋	4月10日	コミュニティーセンターやす
俳 句	10月29日	大津市勤労福祉センター
健康マージャン	5月7日	草津市立市民交流プラザ

【びわこ交流大会】 開催：1

種 目	実 施 状 況	会 場
ボート	5月28日	県立琵琶湖漕艇場

【次年度大会説明会】

開催日 令和5年2月2日(木)

開催会場 県立長寿社会福祉センター

(2) 全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会へ滋賀県選手団の派遣

① 滋賀県選手団結団式・全体説明会

開催日 令和4年10月18日(火)

開催会場 滋賀県立長寿社会福祉センター

② 第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会

開催日 令和4年11月12日(土)～11月15日(火)

開催地 横浜市ほか

(3) 第31回レイカディア美術展の開催

・出品全作品の展示

開催日 令和4年6月9日(木)～6月13日(月)

会 場 ビバシティ彦根2階

作品数 233点(日本画15点、洋画65点、彫刻4点、工芸32点、書44点、
写真73点)

来場者数 1,633名

・入賞・表彰作品の展示

開催日 令和4年6月15日(水)～6月20日(月)

会 場 イオンモール草津 イオンホール

来場者数 679名

・審査会の開催

開催日 令和4年6月7、8日(火・水)

会 場 ビバシティ彦根2階

内 容 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞)、
表彰(アクティブシニア表彰)の審査

・表彰式の開催

開催日 令和4年6月13日(月)

会 場 ビバシティ彦根2階

対 象 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞)、表彰(アクティ
ブシニア表彰)の審査

・実行委員会の開催

2回開催(令和4年3月23日、令和4年7月26日)

・ビバシティ彦根とイオンモール草津での開催に加え、展示会の動画配信を実施

5 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

令和2年度に実施した「滋賀県レイカディア大学卒業生活動状況調査等」を関係者と共有するとともに、レイカディア大学講座企画等の参考とした。

また、令和5年度に実施する調査の準備を進めた。

【人材部門】

滋賀県介護・福祉人材センター

1 多様な人材層の参入促進（「滋賀の福祉人」の確保）

（1）現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽CAFÉ」の開催

・学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの魅力を実感し、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図るために「ふく・楽CAFÉ」を実施した。

① 高校での「ふく・楽CAFÉ」

センター区分	開催日	会場	学年 人数	講 師
くさつ	令和4年5月27日	綾羽高校	2年～3年 46人	宅老所 心
	令和4年5月31日	日野高校	1年28人	人材センター
	令和4年6月9日	日野高校	1年37人	人材センター
	令和4年7月13日	東大津高校	1年～2年 22人	人材センター、研修センター
	令和4年7月14日	玉川高校	1年～2年 5人	人材センター
	令和4年9月12日	日野高校	3年38人	小原日出美
	令和4年9月28日	日野高校	2年39人	甲賀市ケアセンターささゆり、JAゆうハート、甲南会、信楽福祉会
	令和4年9月30日	滋賀学園高校	2年18人	友仁会、かすみ会、甲賀学園
	令和4年10月25日	滋賀学園高校	3年18人	小鳩会、あすなろ福祉会、美絆
	令和4年12月14日	綾羽高校	2年22人	小原日出美
	令和5年2月6日(月)	綾羽高校	2年25人	びわこ学園、慈恵会、白蓮
	令和5年2月20日	八幡高校	2年50人	野洲慈恵会、湖南会、甲賀学園
ひこね	令和4年12月15日	愛知高校	2年13人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
合 計			361人	

②大学等での「ふく・楽 CAFE」

センター 区分	開催日	会場	参加者数	備 考
くさつ	令和4年11月11日	ルネス学園	1年40人	甲賀市ケアセンターささゆり
合 計			40人	

③地域での「ふく・楽 CAFE」

センタ ー区分	開催日	会場	人数	講 師
くさつ	令和4年7月7日	大津市勤労者福祉 センター	17人	すぎやまの家、滋賀病院、楽 樹、マザーレイク、ゆうらいふ
ひこね	令和4年10月16日	長浜市さざなみタ ウン	7人	グロー、ひだまり
	令和4年11月15日	COZYTOWN	1人	現任者同士の交流会 人材センター
	令和4年11月29日	COZYTOWN	2人	現任者同士の交流会 人材センター
	令和5年2月4日	長浜市社協	19人	人材センター
合 計			46人	

(2) 福祉職場へのインターンシップ等の実施

①高校生向け「職場体験」

- ・高校生を対象に、介護・福祉職場での体験を通して、具体的な仕事の内容、魅力ややりがい、実際の職場の雰囲気などを知ってもらうことにより、介護・福祉分野への理解を深めるとともに、介護・福祉分野への進路選択の意欲を高める契機とすることを目的として実施した。全体で8高校の生徒の参加となった。

体験受入登録事業所数	事業所 66（高齢 49、障害 10、児童 7）
体験実施期間	令和4年5月16日（月）～令和5年3月10日（金）
体験者数	15人（くさつ 13人、ひこね 2人）

②大学生・社会人向け「助成金付きインターンシップ」

- ・介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知ってもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認のうえ、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	事業所 80 (高齢 56、障害 13、児童 11)
体験実施期間	令和4年5月16日(月)～令和4年3月10日(金)
体験者数	49人(くさつ 42人、ひこね 7人)
うち就職者※	15人(くさつ 14人、ひこね 1人)

※就職者数は体験先以外を含む

(3) カイゴとフクシ就職フェア in しがの開催

介護・福祉職場と求職者とのマッチングの場として「カイゴとフクシ就職フェア in しが」を開催した。

<フェアの内容>

コロナ対策を講じたうえで、対面形式で16回開催した。また、「しが介護職員定着等推進事業者」や「くるみん」等の働きやすさに関する認定を受けている事業所や、短時間・介護助手の求人のある事業所など、テーマ性を持たせたフェアを秋頃に開催した。

※11月開催の外国人向けの就職フェアは出展申し込みがなかったため中止

2022年度「カイゴとフクシ就職フェア in しが」開催状況										
開催日	会場	出展 法人 数	来場者数			クオカード 取得者 数 (14歳 以上 125 人 以上 訪問)	1法人 あたり 平均 訪問者 数 (平均)	採用者数		
			学生	うち 下 回 生	社会人			学生	社会人	
6/25(土) I部	滋賀県庁	14	42	13 31%	2 5%	29 69%	28 (66人)	10.5	6	0
6/25(土) II部	滋賀県庁	13	38	7 18%	4 11%	31 82%	25 (58人)	9.4	6	0
7/2(土) I部	ビバシティ彦根	10	43	15 35%	5 12%	28 65%	23 (53人)	13.1	2	2
7/2(土) II部	ビバシティ彦根	10	38	9 24%	1 3%	29 76%	24 (53人)	12.9	7	1
7/9(土) I部	キラリエ草津	14	41	16 39%	6 15%	25 61%	28 (65人)	10.9	6	0
7/9(土) II部	キラリエ草津	14	38	12 32%	5 13%	26 68%	25 (65人)	10.0	5	2
		75	240	72 30%	23 10%	168 70%	153 (63人)	11.1	32	5
10/22(土)	滋賀県庁	10	32	1 3%	0 0%	31 97%	20 (62人)	8.3	4	0
10/29(土)	ビバシティ彦根	11	27	0 0%	0 0%	27 100%	9 (33人)	6.6	4	0
11/19(土)	【中止】 長浜市民交流センター	10	0						0	
11/26(土)	【中止】 龍井川コミュ ニティセンター	10	0						0	
12/3(土)	ビバシティ彦根	7	23	4 17%	3 13%	19 83%	9 (33人)	8.6	0	0
12/17(土)	大津合同庁舎	10	23	3 13%	2 9%	20 87%	11 (47人)	6.0	3	1
		58	105	8 8%	5 5%	97 92%	19 (46人)	7.4	11	1
2/11(土) I部	滋賀県庁	14	19	6 32%	5 26%	13 68%	15 (75人)	5.1	0	
2/11(土) II部	滋賀県庁	14	18	8 44%	7 39%	10 56%	14 (77人)	5.1	0	
2/18(土) I部	コージータウン	10	22	4 18%	0 0%	18 82%	10 (45人)	6.1	0	
2/18(土) II部	コージータウン	10	21	1 5%	0 0%	20 95%	10 (47人)	6.1	0	
2/26(日) I部	滋賀県庁	14	29	8 28%	7 24%	21 72%	10 (40人)	6.9	0	
2/26(日) II部	滋賀県庁	14	16	7 44%	6 38%	9 56%	9 (40人)	3.6	0	
			0							
		76	125	34 27%	25 20%	91 73%	49 (39人)	5.5	0	0
合計		209	470	114	53	356	251		43	6

2月の就職フェアの採用者数は令和5年度に集計を行う。

(5) 介護に関する入門的研修の開催

- ・介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21 時間)を実施した。

(入門コースカリキュラム内容 ※は基礎コース)

	時 間		内 容
1 日目	9:30～9:45		オリエンテーション※
	9:45～11:15	1.5 時間	介護に関する基礎知識※
	11:30～13:00	1.5 時間	介護の基本※
	14:00～16:00	2 時間	障害の理解
2 日目	10:00～16:00	10 時間	基本的な介護の方法
3 日目	10:00～16:00		
4 日目	9:30～11:30	2 時間	介護における安全確保
	12:30～16:30	4 時間	認知症の理解
	16:30～16:45		修了式

(開催日程等)

区分	日程	会場	参加者数	就職者数
くさつ	令和4年 7月26日(火) 7月27日(水) 8月2日(火) 8月3日(水)	キラリエ草津	14人	2人
	令和4年 8月20日(土) 8月27日(土) 9月3日(土) 9月10日(土)	県立長寿社会福祉センター	15人	0人
	令和4年 ※9月21日(水) ※9月22日(木)	キラリエ草津 (基礎コースを2日に分けて開催)	4人	0人
ひこね	令和4年 ※5月28日(土) ※6月2日(木) ※6月3日(金) 6月10日(金)	長浜市民交流センター	18人	3人
	令和5年 1月22日(日)	COZYTOWN (基礎コース)	6人	2人
	令和5年 2月7日(火)	COZYTOWN (基礎コース)	12人	0人
	令和5年 3月5日(日)	COZYTOWN (基礎コース)	13人	0人

(6) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	合計
届出者数	149	120	201	153	132	1,021

②「(再) 就職支援セミナー」および「福祉のお仕事入門セミナー」の開催

ア. 介護職場への就労支援のため、主に離職介護福祉士等を対象に「(再) 就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、介護・福祉人材センターによる「介護の職場で働くにあたっての支援制度」の説明や「ミニ相談会」も実施し、参加者が見学や面接など次のステップへ進みやすいプログラムとした。

センター 区分	開催日	会場	人数	講師
くさつ	令和 4 年 11 月 26 日	能登川コミュニティセンター	7 人	滋賀県福祉用具センター
ひこね	令和 4 年 11 月 19 日	長浜市民交流センター	5 人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
	令和 5 年 2 月 16 日	LOCOLIVING	7 人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
合 計			19 人	

イ. 「福祉のお仕事入門セミナー」は令和 3 年 9 月から開始した事業であり、介護・福祉分野の仕事に関心をもつ方に、分野ごとの仕事の内容や職種、福祉の資格、求人の現状や傾向、就職活動の方法などについて、人材センター相談員が解りやすく説明し、就職意欲を喚起し介護・福祉の職場への入職を促すことを目的としている。

実施回数	会場※	参加者数	新規登録者数	採用数
毎月第 3 金曜日：12 回	マザーズジョブステーション草津駅前	42 人	18 人	5 人

※会場参加 39 人、オンライン参加 3 人)

(7) 無料職業紹介事業等の実施

①概要

- ・職業安定法第 33 条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター 区分	新規 求人数 (年累計)	新規 求職者数 (年累計)	有効 求人数 (年平均)	有効 求職者数 (年平均)	有効 求人倍率 (年平均)	紹介・ 応募数	紹介・応募 のうち 採用数	就職フェア 等を通じた 採用数	採用数 計
くさつ	3,287	3,692	813	308	2.64	73	56	78	134
ひこね	1,407	1,335	369	111	3.32	27	10	60	70
合計	4,694	5,027	1,182	419	2.82	100	66	138	204
令和3年度	4,662	1,444	1,186	401	2.96	131	81	114	195
令和2年度	4,287	1,226	1,080	328	3.29	92	61	48	109
令和元年度	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156

・人材センターでの採用数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
人数	160	118	93	88	156	109	195	205

②求人情報等の発信

- ・毎月2回程度、最新の求人情報をまとめてホームページや SNS 等で発信した。
希望者には求人情報誌を送付した。

③地域へ出向いての就職活動支援

ア. ハローワーク等でのガイダンス・職場説明会、出張相談の実施

- ・くさつセンターでは、ハローワーク等での求職者へのガイダンスや、ガイダンス終了後、2～3事業所による地域密着型の小規模な職場説明会を開催した。さらに、休日にイオンモールや地域のコミュニティセンター、市役所等の会場を借りて、職場説明会を実施した。
出張相談では、ハローワーク大津と連携し、毎月1回（1回3時間）の出張相談を実施した。
- ・ひこねセンターでは、出張相談のほか、長浜市民交流センター、ビバンティ彦根、COZYTOWNにおいて、毎月または隔月で「職場説明会」を開催し、採用数の増加につなげた。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター 区分	開催場所	開催時期・回数	参加 者数	新規求職 登録者数	採用者 数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 11回	191	25	4
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 11回	223	17	3
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	47	5	2
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 7回	97	5	2
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 4回	39	3	2
ひこね	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 11回	103	8	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 11回	119	8	0
合 計			819	71	13

<職場説明会>

センター 区分	開催場所	開催時期・回数	参加 者数	新規求職 登録者数	採用者 数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 10回	68	34	1
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 8回	60	25	4
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 5回	31	18	1
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 6回	34	16	5
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 3回	21	10	3
	イオンモール草津	令和4年10月15日(土)	25	14	7
	能登川コミュニティ センター	令和4年11月26日(土)	6	3	0
	甲賀市役所	令和5年3月4日(土)	7	7	1
ひこね	長浜市民交流センタ ー	毎月1回土曜日 8回	65	25	7
	ビバシティ彦根	奇数月第1土曜日 5回	40	9	2
	COZYTOWN		36	7	2
合 計			393	168	33

<出張相談（ハローワーク大津以外は要予約）>

センター 区分	開催場所	開催時期	相談者数	新規求職 登録者数	採用者 数
くさつ	ハローワーク大津 (令和4年10月～)	毎月第3火曜日	10	9	3
	シニアジョブステー ション滋賀	毎月第2木曜日	8	5	2
	滋賀マザージョブス テーション	毎月第4水曜日	5	5	1
ひこね	LOCOLIVING	毎月第3金曜日	8	7	2
	木之本まちづくりセ ンター	6月、10月、2月 第2金曜日	0	0	0
合 計			31	26	8

<市町および養成施設等における就職支援>

センター 区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
くさつ	介護労働安定センター介護労働講習	令和4年6月29日	17
	大津市（入門的研修後）	令和4年6月30日	32
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年7月6日	6
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年7月20日	8
	大津市（入門的研修後）	令和4年7月21日	21
	（有）スタック	令和4年8月2日	12
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年8月3日	13
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年8月17日	13
	大津市（入門的研修後）	令和4年8月27日	22
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年9月7日	16
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年9月21日	13
	大津市（入門的研修後）	令和4年11月19日	3
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和4年12月7日	10
	大津市（入門的研修後）	令和4年12月11日	19
	（有）スタック	令和4年12月15日	9
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和5年1月18日	11
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和5年2月1日	5
	（有）スタック	令和5年2月3日	6
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和5年3月1日	5
合 計			241

イ. 学校、各市町等主催の就職フェア等への出展等（求職者への相談支援）

センター 区分	主催	開催日	会場	概要
くさつ	東近江市	令和4年 9月14日（水）	びわこ学院 大学※	出展法人数：6 来場者数：約100
	近江八幡市	令和4年 11月19日（土）	G-NET	出展法人数：13 来場者数：29
	甲賀市・湖南市	令和5年 1月22日（日）	甲賀市役所	出展法人数：23 来場者数：10
	高島市	令和5年 3月12日（日）	安曇川公民 館	出展法人数：14 来場者数：15
ひこね	米原市	令和4年 8月7日（日）	米原市役所	出展法人数：8 来場者数：6
	長浜市・米原市	令和4年 10月16日（日）	さぎなみタ ウン	出展法人数：16 来場者数：43
	湖東圏域	令和4年 11月18日（金）	多賀結いの 森	出展法人数：20 来場者数：9
	湖東圏域	令和5年 2月20日（月）	プロシード アリーナ	出展法人数：16 来場者数：25

※会場には日野高校生も来場

④福祉職場の魅力発信・啓発

ホームページ、LINE、facebook、ツイッターによる情報発信

- ・LINE等を活用し、介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信した。WEBを活用した情報発信件数は276回となった。
- ・LINE登録者は580人（前年比+105人）となった。

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 新入職員の定着支援

①実行委員会形式による合同入職式の開催

開催日	令和4年5月12日（木）
会場	琵琶湖ホテルとオンラインのハイブリッド
内容	○合同入職式 滋賀県知事を迎え合同入職式を実施。会場参加者には知事より直筆メッセージカードを交付。 ○交流会講演 「The future of Shiga～クリエイティブに働こう～」 講師：石本 淳也（KAIGO PRIDE 理事、熊本県介護福祉士会会長） ○交流会応援ソング&メッセージ 演奏：田中 孝史（ヴォーリス老健センター）他 EMPOWERMENT RECORDS
希望者数	85人（会場参加20人、オンライン参加48人、不参加であるがメッセージカードのみ交付者17人）

②新入職員フォローアップ研修・交流会の開催（半年後）

開 催 日	令和4年11月8日（火）（くさつ）、11月9日（水）（ひこね）
会 場	対面とオンラインの併用
内 容	○交流会&オンライン研修 内容：「日々のふりかえり」をテーマにしたグループワークや仲間づくり
参 加 者 数	くさつ10人、ひこね5人

③新入職員フォローアップ研修・交流会の開催（1年後）

開 催 日	令和5年2月7日（火）（くさつ）、2月8日（水）（ひこね）
会 場	対面とオンラインの併用
内 容	○交流会&オンライン研修 内容：「作戦会議！ふくしを楽しみ はたらくを面白がるには！？」
参 加 者 数	くさつ9名、ひこね6人

（2）メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

コース	参加者数	内容
基 礎	21人 (16事業所)	メンター制度導入に向け、意義や進め方を学ぶ。 (講師) 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (平成4年4月19日(火)、26日(火))
定着支援	21人 (14事業所)	1年間を通じたプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師) 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (令和4年4月19日(火)、26日(火)) ・フォローアップ研修 (令和4年8月26日(金)) ・成果報告会 (令和5年2月24日(金) 参加15人) ・支援員による巡回相談 (2回 14事業所 面談21人)

（3）事業所向け人材確保・定着セミナーの実施

開 催 日	令和4年9月13日（火）
会 場	オンライン
内 容	○介護・福祉人材採用力アップ 事業所セミナー 講師：株式会社マイナビ 神野 達郎氏ほか ・新卒・中途福祉業界採用市場の現状と魅力発信の方法 ・「魅力」が伝わる求人票の作成方法 ・ふくしの採用けんこう診断による、自法人の採用状況チェック
参 加 数	35事業所

開 催 日	令和5年1月25日（水）
会 場	オンライン
内 容	○介護・福祉人材採用力強化セミナー第二弾 オンラインを活用した採用 講師：株式会社リクルート 坂本 宗庸氏ほか ・オンライン化×採用力強化

	・求人作成ノウハウ向上
参 加 数	33 事業所

開 催 日	令和5年3月7日（火）
会 場	オンライン
内 容	○介護・福祉人材定着・離職防止力セミナー 講師：株式会社リクルート 坂本 宗庸氏ほか ・人材定着における社内の人間関係構築の重要性 ・従業員満足度を高める4つの視点と事例紹介 ・職員の特性把握と関わり方 等
参 加 数	30 事業所

（4）キャリア・ライフ電話相談の実施

- ・介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

月～金曜日（祝日、年末年始を除く）10時～16時

実施方法 電話相談

相談件数 27 件

分 類	件数	分 類	件数
1. 職場内人間関係	6	4. 資格取得等のスキルアップ	3
2. ワーク・ライフ・バランス	0	5. 支援技術等ノウハウ	0
3. 職場のストレス（1以外）	3	6. その他	15

（5）出前講座（無料講師派遣）の実施

- ・職場内研修支援事業として、滋賀県介護福祉士会及び滋賀県社会福祉士会等と連携し、無料講師派遣を実施した。回数 29 回。

<研修テーマ内訳>

分 類	件数	分 類	件数
対人支援の基本	8	働きやすい職場づくり	0
権利擁護・意思決定支援	5	看取り	2
認知症対応の基本	7	コンプライアンス	4
リスクマネジメント	1	その他	2

滋賀県社会福祉研修センター

1 えにしアカデミー

(1) 2期生の募集と入学式の開催

①第2期の入学者数

入学生数 14名(定員15名)

聴講生 21名(令和5年3月31日現在)

②2期生入学式の開催

開催日 令和4年10月5日(水)

場 所 草津市立市民交流プラザ(フェリエ南草津5階) 大会議室

出席者 41名(うち2期生入学生12名)

団体・職能団体、えにしアカデミー運営委員、学生所属法人、県内社会福祉法人、えにしアカデミー1期生

(2) 講義等の実施

①講義実施状況

(1) 第1期後期(令和4年4月～令和4年9月)

オンライン講義 19回

集合講義 4回

(2) 第2期前期(令和4年10月～令和5年3月)

オンライン講義 18回

集合講義 2回

②ゼミ実施状況

(1) 第1期後期(令和4年4月～令和4年9月)

・1年生ゼミ 10回(2クラス 5回)

日程	授業内容
4月	実践研究の方法
5月	文章・論文の読み方
6月	文章・論文の書き方
7月	発表の仕方(発表会)
8月	発表の仕方(発表会)

(2) 第2期後期(令和4年10月～令和5年3月)

・2年生ゼミ

29名の学生が8つのゼミクラスに分かれて月1回～2回実施

修了論文作成に向けた指導および意見交換

ゼミ	所属人数	実施回数
新崎ゼミ	5名	8回
牛谷ゼミ	3名	5回
北野ゼミ	3名	5回
樽井ゼミ	3名	6回
松端ゼミ	4名	6回
南ゼミ	3名	6回
廣野ゼミ	4名	6回
渡辺ゼミ	4名	6回

・1年生ゼミ 5回実施

学生が次のテーマについてプレゼンテーションを行う

「困難に直面したときに、手にとった文献（本・雑誌・漫画・詩など）について」

日程	内容
10月	オリエンテーション
11月	発表者3名
12月	発表者4名
1月	発表者2名
2月	発表者4名

③修了論文構想発表会

開催日 令和5年1月6日（金）

場 所 草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）401・402 会議室

出席者 40名（1期生23名、2期生6名、フェロー8名 他）

内 容 修了論文の章立て（各章のテーマ）などについて発表

2 「滋賀の福祉人」研修

県、大津市と本会による三者協定「滋賀の福祉人の育成に関する協定」（平成30年12月7日締結、令和4年3月1日一部改定）に基づき、令和4年度より「滋賀の福祉人研修」を実施。本県の福祉従事者が「滋賀の福祉人」としてキャリア形成していくための分野共通研修として取り組んだ。

（1）社会福祉共通研修

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| ① 新任期（原則3年未満） | （3日×2コース） | [修了者数] 97人 |
| ② 中堅期（原則5年未満） | （3日×1コース） | [修了者数] 52人 |
| ③ チームリーダー | （3日×1コース） | [修了者数] 29人 |
| ④ 管理職 | （2日×1コース） | [修了者数] 29人 |

※「滋賀の福祉人」とは

「滋賀の福祉人」とは、支援の知識や技術を支える基本となる支援者としての高い倫理観や価値観を有し、それらを土台に据えて主体的に日々の福祉実践を行う人材をいう。

3 介護分野で働く「滋賀の福祉人」育成研修

(1) 介護職階層別

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| ① 新任期（原則3年未満） | (5日×5コース) | [修了者数] 69人 |
| ② 中堅期（原則5年未満） | (5日×1コース) | [修了者数] 28人 |
| ③ チームリーダー | (5日×1コース) | [修了者数] 21人 |
| ④ 管理職 | (3日×1コース) | [修了者数] 15人 |

- | | | |
|---------------------|------------|------------|
| (2) 介護職員チームリーダー養成研修 | (17日×2コース) | [修了者数] 28人 |
|---------------------|------------|------------|

4 課題別研修

- (1) 障害福祉分野等における対人支援のための記録入門研修（2日×1コース）

[修了者数] 36人

- (2) 高齢福祉分野における対人支援のための記録入門研修（2日×1コース）

[修了者数] 20人

- (3) OJT推進リーダー研修（3日×1コース）

[修了者数] 16人

5 介護支援専門員の法定研修事業

- | | | |
|-----------------|------------|-------------|
| (1) 介護支援専門員実務研修 | (15日×2コース) | [修了者数] 117人 |
|-----------------|------------|-------------|

- | | | |
|------------------|------------|-------------|
| (2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ | (11日×3コース) | [修了者数] 128人 |
|------------------|------------|-------------|

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------|
| (3) 介護支援専門員専門課程Ⅱ | (5日×1コース、8日×4コース) | [修了者数] 371人 |
|------------------|-------------------|-------------|

- | | | |
|----------------|------------------------|------------|
| (4) 介護支援専門員再研修 | (10日×2コース) ※更新研修Ⅱと同時実施 | [修了者数] 44人 |
|----------------|------------------------|------------|

- | | | |
|------------------|----------------------|-------------|
| (5) 介護支援専門員更新研修Ⅱ | (10日×2コース) ※再研修と同時実施 | [修了者数] 125人 |
|------------------|----------------------|-------------|

- | | | |
|-----------------|------------|------------|
| (6) 主任介護支援専門員研修 | (12日×1コース) | [修了者数] 58人 |
|-----------------|------------|------------|

6 認知症に関する専門的研修事業

- | | | | |
|---------------|---------|-----------|---------------|
| (1) 認知症介護基礎研修 | 集合 | (1日×2コース) | [修了者数] 206人 |
| | e-ラーニング | (随時) | [修了者数] 1,051人 |

- | | | |
|----------------|-----------|-------------|
| (2) 認知症介護実践者研修 | (6日×4コース) | [修了者数] 222人 |
|----------------|-----------|-------------|

- | | | |
|-------------------|-----------|------------|
| (3) 認知症介護実践リーダー研修 | (7日×2コース) | [修了者数] 50人 |
|-------------------|-----------|------------|

- | | | |
|--------------------------|-----------|------------|
| (4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 | (5日×1コース) | [修了者数] 5人 |
| (5) 認知症介護サービス事業開設者研修 | (1日×1回) | [修了者数] 11人 |
| (6) 認知症対応型サービス事業管理者研修 | (2日×2コース) | [修了者数] 46人 |
| (7) 小規模多機能型サービス等計画作成者研修 | (2日×2コース) | [修了者数] 26人 |

7 権利擁護に関する研修事業

- | | | |
|--------------------------|-----------|-------------|
| (1) 権利擁護(身体拘束廃止)推進員養成研修 | (4日×1コース) | [修了者数] 12人 |
| (2) 身体拘束ゼロセミナー | (1日×1回) | [修了者数] 376人 |
| (3) 障害者虐待防止・権利擁護相談担当職員研修 | (2日×1回) | [修了者数] 25人 |
| (4) 障害者虐待防止・権利擁護施設従事者研修 | (1日×2回) | [修了者数] 82人 |

※研修動画再生回数 505 回

8 福祉・介護事業所の職場研修への講師派遣事業

[講師派遣実績] 29 回

9 「先人に学ぶ」事業

県内の先駆的实践者へ、次世代へのメッセージについてインタビューし、滋賀の福祉人研修に活用できるブックレットを作成。

社会福祉法人あすなろ福祉会 浅居 茂氏

医療法人藤本クリニック 藤本 直規氏・奥村 典子氏

社会福祉法人青祥会 畑下 嘉之氏・畑下 圭子氏

株式会社なんてん共働サービス 溝口 弘氏

【滋賀県福祉用具センター】

1 福祉用具(介護ロボットを含む)を活用したケアの推進

安全なケアの促進や福祉用具の利活用を図るために、福祉用具セミナー・展示会を参集・オンラインで開催した。

(1) 福祉用具セミナー・展示体験会

テーマ 認知症によりそう～認知症の方が安心して暮らし続けるための環境づくり

開催日 令和4年10月21日(木)

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 スペシャルセミナー「認知症・MCIと福祉用具」

製品プレゼンテーション、製品展示体験

参加者 161名

2 抱え上げない介護推進事業

職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を開催した。また、一定の研修を修了し、積極的に継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として推奨する事業を開始し、2事業所を推奨した。

- | | | | |
|-----------------------------|-----------|----------|-------|
| (1) 抱え上げない介護入門研修 | (1日) | [修了者数] | 89名 |
| (2) 抱え上げない介護実践研修 | (5日×2コース) | [修了事業所数] | 13事業所 |
| (3) 抱え上げない介護定着研修① | (1日×3回) | [修了者数] | 47名 |
| (4) 抱え上げない介護定着研修② | (1日×2回) | [修了者数] | 33名 |
| (5) 抱え上げない介護技術指導者養成 | (1日) | [修了者数] | 12名 |
| (6) 抱え上げない介護アセスメント・プランニング研修 | (1日×2回) | [修了者数] | 26名 |
| (7) リフトリーダー養成研修 | (2日×2コース) | [修了者数] | 34名 |
| (8) 抱え上げない介護出前講座 | | [修了事業所数] | 7事業所 |
| (9) 抱え上げない介護推進事業所推奨事業 | | | |

[推進事業所] 社会福祉法人よつば会 地域密着型特別養護老人ホームやまでら

マザーレイク株式会社 グループホームマザーレイク

3 高齢在宅介護者への介護方法や福祉用具の情報提供・発信

在宅介護者の介護負担軽減等を図るため、セミナーの開催、常設展示や出前展示、ホームページ等による情報提供や発信を行った。

(1) 在宅介護セミナー

かいごのシゴト再就職応援セミナー 「介護技術の基本のキ」

開催日 令和4年11月19日、11月26日、令和5年2月16日

会場 能登川コミュニティセンター、長浜市民交流センター、えきまちテラス長浜

参加者 19名

(2) 常設展示・見学受入(団体・個人)・依頼研修

①福祉用具センター展示

605点(令和5年3月末日現在)の福祉用具を展示

②展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

・試用評価貸出者 193名 貸出点数 295点

分類別貸出用具点数			
入浴用品	30点	移乗用具・リフト	62点
トイレ用具	15点	コミュニケーション関連	44点
歩行支援	19点	家具・手すり	7点
自助具	93点	褥瘡予防	1点
衣類・靴	16点	その他	3点
車いす	5点	計	295点

・研修・地域イベント等への展示用具の貸出

借用者	研修	展示・イベント
福祉関係機関・団体等	10件	3件
福祉用具取扱い事業所、メーカー	16件	0件
計	26件	3件

③福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来館者数 2,519名

団体見学(8団体)	150人	研修受講者	909人
個人見学	292人	外部依頼研修(館内実施)	250人
来所相談	205人	その他来館者	520人
福祉用具試用貸出	193人		

・福祉用具センター利用者数 2,865名

来館者	2,519人	来所以外の相談	171人
出前講座	65人	抱え上げない介護出前講座	71人
在宅介護セミナー	19人	出前展示	20人

④関係機関、学校等からの依頼研修の実施

10 件実施

実施日	会場	依頼元	内容	人数
4月14日	出前	レイカディア大学米原校	福祉用具と住宅改修	52
4月20日	館内	びわこリハビリテーション専門職大学理学療法学科	地域理学療法実習	42
7月28日	館内 (zoom)	長浜米原しょうがい者自立支援協議会	コミュニケーション支援機器と障害福祉サービス	10
7月28日	館内	県立リハビリテーションセンター	第2回障害福祉担当職員研修会	24
8月19日	館内	レイカディア大学草津校	福祉用具と住宅改修	121
12月8日	館内	綾羽高等学校	抱え上げない介護等体験	23
12月15日	出前	介護・福祉人材センターくさつセンター（県立愛知高校）	福祉用具の紹介	13
1月17日	館内	NPO 滋賀県社会就労事業振興センター	いきいき生活支援員更新研修	12
2月2日	館内	NPO 滋賀県社会就労事業振興センター	介護職員初任者研修	15
2月14日	館内	NPO 滋賀県社会就労事業振興センター	介護職員初任者研修（補講）	3

(2) ホームページ、SNS、啓発資料による情報発信

ホームページを改修、フェイスブック、インスタグラムを開設し、センター機能や抱え上げない介護情報、製品情報等の発信を行った。また、抱え上げない介護の啓発資料を作成し、関係機関に配布した。

(3) 地域イベントへの出前展示

実施日	イベント名	展示内容	人数
11月20日	個に応じたコミュニケーションを考える条例タウンミーティング	コミュニケーション機器	20

4 福祉用具専門研修

福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるために、介護・福祉事業所を対象にした福祉用具・住宅改修に関する専門的研修を実施した。

- | | | |
|-------------------|---------|------------|
| (1) 福祉用具基礎研修 | (1日) | [修了者数] 73名 |
| (2) 住宅改修研修 | (1日) | [修了者数] 18名 |
| (3) ポジショニング研修 | (1日×2回) | [修了者数] 41名 |
| (4) 福祉用具プランナー認定講習 | (9日) | [修了者数] 19名 |

5 介護負担軽減やより良い暮らしのための相談対応

医療・福祉サービスの利用者やその家族、施設・事業所等関係機関から、福祉用具や住宅改修等の相談を受け、アセスメントや選定や使い方の助言・指導、フォローアップ等を行った。

(1) 福祉用具等に関する相談対応

①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応

相談件数 331 件

・相談内容毎件数（相談 1 件につき複数の内容の対応あり）

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉用具の紹介	77 件	住宅改修関係	11 件
福祉用具の選定・使用方法	122 件	補装具関係	6 件
福祉用具の改造	77 件	その他	21 件
福祉用具関係その他	31 件		

②福祉用具等の改造・製作

・改造・製作の内容と件数

改造・製作件数 26 件

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	下着、衣類の改造	24 件
車用品	車用シート製作	1 件
クッション関連	クッション固定ベルト製作	1 件

6 重度障害児者の入浴支援事業

湖北圏域での入浴支援の充実に向け、相談員対象に入浴支援の現状や課題の共有を目的とした座談会を長浜米原しょうがい児者基幹相談調整センターとの共催で行った。

開催日	座談会名	内容	人数
12 月 26 日	計画相談支援・障害児相談支援事業所連絡会 「湖北の入浴を語ろう会」	支援者による入浴の現状と課題の共有	21

7 福祉用具センターの運営管理

(1) 滋賀県福祉用具センター運営委員会の開催

開催日	協議事項および結果
令和 4 年 9 月 9 日	① 展示福祉用具の選定について（7 点中 6 点採用） ② 福祉用具センターの事業について ・今後の取組について ・抱え上げない介護推進事業について

令和5年2月7日	① 展示福祉用具の選定について（15 点中 15 点採用） ② 福祉用具センターの事業について ・ 情報発信について ・ 県北部での取組について ・ ICT を活用した支援機器に関する協議会について
----------	--

（2）福祉用具等に関する情報の収集、提供、普及に関する業務

福祉用具・住宅改修についての情報収集および情報提供

福祉機器展視察、福祉用具メーカー等から新製品等の情報収集を行った。また、情報提供については展示会を開催するとともにホームページやSNSで発信した。

（3）福祉用具センターおよび福祉用具センターの業務内容の普及に関する業務

ホームページ、SNSで情報発信を行った。

（4）関係機関・団体等との連携

地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図った。また、福祉用具メーカー・販売貸与事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

①県立リハビリテーションセンターとの連携

- ・ 県立リハビリテーションセンター更生相談係と、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応に努めた。
- ・ 福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
- ・ 県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会」の運営に参画した。

②福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携

- ・ 福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
- ・ 日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。

③関係機関・団体との連携

- ・ 滋賀県介護支援専門員協会と福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。

【COZY TOWN】

1 コージータウンの開設

（株）平和堂、滋賀県等と協議を重ね、アル・プラザ彦根4階部分、12月2日6階部分をオープンした。

2 広報、情報発信の状況

(1) コージータウンホームページの開設およびSNSによる情報発信

県社協ホームページ上にコージータウンページを開設し、SNS (Instagram、Facebook、Twitter) の活用した広報活動を実施した。(SNS 更新頻度：1週間に1回程度)

(2) コージータウンリーフレットの作成 3,000部

(3) イベントカレンダーの作成および更新

月ごとのコージータウンでのイベントカレンダーを作成しチラシおよびホームページおよびSNSにて情報発信した。

3 基本事業の実施

(1) 滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスの運営

(2) SLECの開催【再掲】

	講座名	講師	開催日	参加人数
1	相手の心に元気を届ける 話し上手・聞き上手レッスン	夢こらぼ 主宰 松尾やよい	11月2日(水)	8
2	鏡に映る私をもっと好きになる いきいき美容セミナー	資生堂ソーシャルエリアパートナー 東沢ゆかり	11月30日(水)	13
3	もっと便利に、もっと楽しむ 現役大学生と学ぶLINE 講座	県社協職員 サポート…滋賀大学学生	12月16日(金)	7
4	体も心もやわらかく♪ 健康ヨガ	ヨガインストラクター 頼角 紀子	1月17日(火) 1月24日(火) 1月31日(火)	15
5	なりたい自分を見つけよう！ ボランティア入門	京都光華女子大学 南多恵子	1月21日(土)	6
6	家族と自分の暮らしのために… おうち介護、きほんのき！	滋賀県介護福祉士会	1月22日(日) 2月7日(火) 3月5日(日)	26
7	優雅に健康GET！ 太極拳	滋賀県武術太極拳連盟	2月1日(水) 2月15日(水)	20
8	～写真入門講座～	滋賀県写真連盟	2月3日(金)	19

	写真アカデミア	会長 澤野二郎	2月10日(金) 2月17日(金)	
9	自分史から見つける新しい私 ～私(家族)を書き、語る～	自分史活用アドバイザー 富田 有子	2月10日(金) 3月10日(金) 3月17日(金)	7
10	ほっこり、ひといき。 おいしいコーヒーのいれかた	此処珈琲焙煎所 角井 優斗	3月6日(月)	17

(3) 滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンター

事業名	開催日
かいご・ふくし職場説明会 in COZY	11月12日(土) 1月28日(土)、3月4日(土)
フォローアップ研修交流会	2月8日(土)
カイゴとフクシ就職フェア in しが	2月18日(土)

(4) その他

事業名	部 署	開催日
Pネット運営会議	Pネット	10月11日(火)
子ども食堂研修会	地域福祉課	11月2日(水)
しがDWAT養成研修	地域福祉課	11月13日(日)
介護支援専門員研修専門課程	社会福祉研修 センター	11月1日(火)～12月14日(水) のうちの7日間
ボランティアコーディネーターセミナー	レイカディア	1月27日(金)
つながり若者センターコージータウン 開所記念座談会	地域養護係	12月9日(金)

4 ごっちゃ事業の実施

事業名<実施機関>	開催日
おやこサロン(子育て支援) <小鳩の家×つながり若者センター×コ ージータウンカフェ>	12月23日(金)、 1月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金) 2月3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金) 3月3日(金)、17日(金)、24日(金)
若者食堂(若者の居場所活動) <さざなみ学園×つながり若者センター>	1月6日(金)、2月27日(月)、3月24日(金)

ふく楽カフェ ＜社会福祉研修センター×介護・福祉人材センター＞	11月15日（火）、11月29日（火）
こころと身体の発育サロン ＜さざなみ学園×つながり若者センター＞	12月21日（水）、1月18日（水）、2月14日（火）、 3月14日（火）
介護に関する入門的研修 ＜SLEC×介護・福祉人材センター＞	1月22日（日）、2月7日（火）、3月5日（日）
子ども食堂ミニフェスタ ＜はぐくみ係×カフェ×平和堂×ポケモン財団＞	12月3日（土）
学びの応援相談会 ＜修学・生活資金課×つながり若者センター＞	12月17日（火）
若者応援クリスマスイベント ＜さざなみ学園×つながり若者センター＞	12月24日（土）
プレ高齢者疑似体験 ＜福祉用具センター×平和堂＞	12月24日（土）
愛犬地区里親交流会 ＜彦根保健所×地域養護推進協議会＞	3月15日（水）
若者応援イベント（JERRYBEANS コンサート） ＜さざなみ学園×つながり若者センター＞	3月18日（土）

5 バリアフリー映画会開催状況

開催日	上映作品	観客数
12月10日（土） 午前・午後上映	「この世界の（さらにつつもの）片隅で」 片渕監督トークショー（午後上映後）	午前 18名 午後 35名
1月14日（土）	「泣き虫しょったんの奇跡」	19名
2月25日（土）	「花束みたいな恋をした」	15名
3月11日（土）	「MINAMATA」	32名

6 コージータウンカフェ運営状況

年 月	来客数	売 上
12月	1,817名	805,380円
1月	1,409名	602,570円
2月	1,558名	693,620円
3月	1,605名	772,100円
令和4年度 合計	6,389名	2,873,670円

【滋賀県運営適正化委員会事務局】

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 選考委員会委員の選任

任期満了に伴い、厚生労働省令に規定する方法により第12期運営適正化委員会選考委員会の委員を選任した。

任 期 令和4年8月18日～令和6年8月17日（2年間）

会 場 滋賀県立長寿社会福祉センター

委員数 福祉サービス利用者代表 2名

福祉サービス経営者代表 2名

公益代表 2名

計 6名

(1) 選考委員会の開催

- ① 任期満了に伴い、各団体等より推薦のあった第12期運営適正化委員会委員候補者を審査し、委員の改選を行った。

開催日 令和4年8月24日（水）

会 場 滋賀県立長寿社会福祉センター

委員数 運営監視合議体 7名

苦情解決合議体 6名

計 7名

- ② 選考委員長の退任に伴う、新委員長の選任および委員長代理の指名

期 日 令和5年3月22日（水） ※書面決議

- ③ 運営適正化委員会委員1名の辞任に伴い、選考委員会に置いて委員候補者を審査し、委員の改選を行った。

期 日 令和5年3月30日（木） ※書面決議

(3) 全体委員会の開催

開催日 令和4年10月7日（金）

会 場 滋賀県立長寿社会福祉センター

議 事 運営適正化委員会の活動状況、今後の活動についての意見交換 等

2 福祉サービスの苦情解決

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、下記のとおり合議体を開催し、対応

した。

(1) 苦情解決合議体の開催（5回開催）

	期 日	内 容
1	令和4年 4月28日（木）	協議案件0件、報告案件2件
2	令和4年 6月20日（月）	協議案件0件、報告案件3件
3	令和4年 8月23日（火）	協議案件0件、報告案件6件
4	令和4年11月11日（金）	協議案件1件、報告案件2件
5	令和5年 2月10日（金）	協議案件0件、報告案件2件

(2) 福祉サービスに関する苦情相談の受付状況

	苦情 受付	苦 情 解 決 の 結 果（内訳）							その他 問合せ 等	合計
		相談 助言	紹介 伝達	あっ せん	通知	事情 調査	申入 れ	継続		
合計	13	0	12	0	1	0	0	0	132	145

※苦情受付件数は新規のみ計上

事情調査 0件

申し入れ 0件

あっせん 0件

知事通知 1件

虐待通報 1件

3 福祉サービスの苦情解決に関する広報・啓発等

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会を幅広く周知し、利用者側から苦情等を相談しやすい環境づくりを進めるために、広報啓発をおこなった。

(1) 県民向けの福祉サービスの苦情解決に関する広報啓発

- ① これまでに、作成した資材（在庫分：パンフレット、ポケットティッシュ）を、県内社会福祉施設・事業者、行政、市町社協等へ配布
- ② 県社協ホームページでの広報

(2) 福祉サービス事業所巡回訪問

- ① 社会福祉法人滋賀県聴覚障害者協会びわこみみの里（障害）
- ② 社会福祉法人こころ暖まる会 認定こども園 ひかりの森（子ども）
- ③ 社会福祉法人こころ暖まる会 特別養護老人ホーム サニープレイス彦根（高齢）

(3) 福祉サービス苦情解決研修会

研 修 名 福祉サービス苦情解決研修会

ね ら い 社会福祉法第 82 条により、社会福祉事業の経営者は福祉サービス提供にかかわる苦情の適切な解決に務めることが求められており、福祉サービスを提供する事業所に対し、苦情解決体制その役割、苦情が発生する状況や利用者の心理を学ぶとともに、苦情解決の手順や苦情を予防する基本的な知識の習得を目的とする。

対 象 ① 福祉サービス事業所の苦情受付担当者および苦情解決責任者
② 福祉サービス事業所職員
③ 第三者委員
④ その他関係職員

日 時 令和 5 年 3 月 13 日 (月) 13:00~16:30

会 場 滋賀県立長寿境福祉センター 大教室

講義内容 講義Ⅰ

「苦情解決体制とその役割」

講師：立命館大学 特任教授 野田 正人 氏

講義Ⅱ

「苦情を生まない対応・苦情に対する対応」

講師：コミュニケーションサポートオフィス

代表 喜山 志津香 氏

参加人数 141人

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

市町社会福祉協議会が実施する地域福祉権利擁護事業の適正な運営を確保するため、運営監視を行い、運営監視合議体を開催のうえ対応した。

(1) 運営監視合議体の開催 (5回開催)

	期 日	内 容
1	令和 4 年 4 月 7 日 (木)	・追加調査を行った社協への助言等について
2	令和 4 年 8 月 5 日 (金)	・令和 4 年度上半期の運営監視の現地調査の報告と助言事項について ・再調査結果について ・下半期の運営監視の実施予定について
3	令和 4 年 10 月 7 日 (金)	・令和 4 年度上半期の運営監視の助言に対する回答について ・再調査 (事務局による確認) 結果について ・下半期の運営監視の実施について (日程確定)

4	令和4年12月 9日 (金)	・令和4年度下半期の運営監視の現地調査の報告と助言事項について ・「苦情申出書」に対する対応について
5	令和5年 2月15日 (水)	・令和4年度下半期の運営監視助言事項に関する改善状況報告について ・「苦情申出書」に対する対応について (継続) ・令和5年度地域福祉権利擁護事業 現地調査 実施計画について検討

(2) 定期現地調査の実施

9社協実施

(3) 特別調査の実施

令和4年12月12日 (月)、令和5年1月11日 (水)

